



2022-23 年度 第 2 号 通巻 69 号
2023 年 9 月 1 日 発行

東日本区区報

2022-23 Japan East Regional Bulletin

Y's Men International

モットー “To acknowledge the duty that accompanies ever right”
「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」

2022-23 年度

国際会長 K・C・サミュエル(インド)～2023.1.16

主題 “Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”
「フェロウシップとインパクトで次の 100 年へ」
スローガン “BEYOND SELF and BE THE CHANGE”
「自己を超えて、変化を起こそう」

国際会長 ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)2023.1.17～

主題 “Let Your Light Shine”
「輝かそう、あなたの光を」
スローガン “Good Communication is the Cornerstone in Every
Cooperation”
「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

アジア太平洋地域会長 チェン・チ・ミン(台湾)

主題 “Elegantly Change with New Era”
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
スローガン “Doing It Right Now”
「今すぐ実行を」

東日本区理事 佐藤重良(甲府21)

主題 “Let's act now for the future”
「未来に向けて今すぐ行動しよう」
スローガン “Do something for someone and have an enjoyable club life
for yourself !”
「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」

目次

理事報告	2	東日本区事務所人事委員長報告	12
次期理事報告	4	法人推進委員長報告	12
直前理事報告	4	IT アドバイザー報告	13
書記報告	4	ヒストリアン報告	13
会計報告	5	トラベルコーディネーター報告	13
地域奉仕・Y サ事業主任報告	5	広報・伝達 (PR) 専任委員報告	13
会員増強事業主任報告	6	東日本区ユース代表報告	14
国際・交流事業主任報告	6	副書記報告	14
ユース事業主任報告	6	副会計報告	14
ワイズメネット委員長報告	7	東日本区事務所長報告	15
北海道部部長報告	7	東日本区担当主事報告	15
北東部部長報告	8	2023 年 7 月 1 日現在 現勢	16
関東東部部長報告	8	2022-23 年度年次代議員会議事録	17
東新部部長報告	8	2022-23 年度第 1 回東日本区役員会議事録	18
あずさ部部長報告	9	2022-23 年度第 2 回東日本区役員会議事録	22
湘南・沖縄部部長報告	9	2022-23 年度第 3 回東日本区役員会議事録	25
富士山部部長報告	10	2022-23 年度第 4 回東日本区役員会議事録	29
行政監事報告	10	2022-23 年度行政監査報告書	32
会計監事報告	10	2022-23 年度期末決算書	34
文献・組織検討委員長報告	10	2022-23 年度決算会計監査報告書	38
LT 委員長報告	11	2022-23 年度各クラブ献金一覧	39
東日本区ワイズ基金運営委員長報告	11	第 26 回東日本区大会報告	40
奈良傳賞選考委員長報告	11	2022-23 年度東日本区表彰一覧	46
東日本大震災支援対策本部長報告	11	2022-23 年度クラブ会長・区役員/委員長等名簿	51
Change! 2022 推進委員長報告	12	2022-23 年度ワイズメネット献金一覧	52
		2022-23 年度ワイズメネット委員会会計報告	53



主題 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
スローガン「誰かのために奉仕して自分のための楽しいクラブライフを」

2022-23 年度東日本区理事
佐藤重良(甲府 21)

● 始めに

2022-23 年度、コロナ禍で思うように活動のできない厳しい時に、皆さんのお支え、ご協力をいただきまして任務を務めさせていただきました。心から感謝を申し上げます。

区報第 2 号発刊にあたり、理事として活動しました期間の反省と、積み残した引継ぎ事項を申し上げます。東日本区の年間の活動詳細は、理事活動報告書および書記、会計、各事業主任等の活動報告書をご覧ください。

● 東日本区の一体感のために

私が常日頃感じていることは、区内のコミュニケーションを良くしなくてはならないということです。そのためには各種の情報を理事キャビネット、事業主任、部長、クラブ会長、各委員会、専任委員、ワイズメネット委員会、東日本区事務所、日本 YMCA 同盟等に早く、正確に伝達しなければならない事と考えて、毎月初めに発行する、理事通信を中心に、情報の発信をさせていただきました。ページ数も平均 14 ページ・多い時には 20 ページ以上となりました。残念ながら理事通信を読んでおられる方の比率が低いと感じられました。最先端の現場からのホットな情報も収集(投稿もいただき)して掲載させていただこうとしましたが、実現出来ませんでした。今後とも東日本区内(各委員会・専任委員を含む)の動向を、クラブ員一人一人に行き渡るような情報の発信および受信されているかの、きめ細かいフォローもしていただきたいと思います。

● フェローシップの重要性

2022-23 年度は YMI 設立 100 周年、ワイズメンズクラブ 東西日本区設立 25 周年の年でありました。

東西日本区の 25 周年を祝う交流会は、西日本区のホストで 2023 年 2 月 4 日 5 日に、神戸の ANA クラウンプラザ ホテル神戸で、400 名の参加で実施(東日本区からは 130 名参加)されました。メインのプログラムのひとつとして、

奉仕 4 団体(ライオンズ、ロータリー、キワニス、ワイズ)のフォーラムが実施されました。その中で共通の課題は、高齢化が進む中で、会員の増強が困難であるとのことでした。このような奉仕団体が意見交換することは、大変意義あることなので、継続的に実施してはとの意見も出ました。一方、東西日本区交流会のプログラムとしては「語ろうワイズの未来」と題してパネラーと会場の皆さんと一体となり、フリーディスカッションも実施されました。やはり会員の減少問題が大きな話題となりました。ワイズの未来を東西日本区それぞれの区内で継続して検討しなければならないことで終わりました。YMI100 周年の祝賀会は、台湾の台北市で 2023 年 3 月 10~12 日に実施されました。YMI100 年の歴史に感謝し、功績者の表彰などが実施されました。また、これからの 100 年のスタートにあたって、若者のスピーチもありました。祝賀会は終始和やかで、参加者の交流が盛んに行われました。このような機会に交流を盛んにし、友情を育むことは未来のワイズのために大変重要な事と感じました。

● 会員増強強化策・YMCA とワイズの絆の強化

私は、東日本区の直面する最大の課題は会員増強と考え、会員増強の活動に重点を絞り、活動してまいりました。しかしながら、結果として、2022 年 7 月 1 日に 770 名でスタートして1年を経過して 2023 年 7 月 1 日は、マイナス 44 名の 726 名のスタートとなりました。クラブ数は 58 から 56 となりました。クラブの解散についてのご相談もありましたが、残念ながら解散を止めるには至りませんでした。東日本区としての支援の仕組みが必要と提案します。会員増強について、YMCA と一体になって活動しなければならない。ワイズが強くなることは YMCA にとっても必要なことなので、YMCA の関係する退職者、OB/OG、出入りの関係会社、個人、保護者等、あらゆる人脈を駆使して入会の促進活動をするべきと訴えてきました。私も YMCA の関係者に直接お願いしましたが、残念ながら短期間のためか、理解が得られないためか、目に見えた成果はありませんでした。今後とも YMCA と会員増強についての協働活動が必要と考えます。YMCA とワイズは 100 年前からのパートナーですから、他の奉仕団体にはない、強みがあります。YMCA の関係者とワイズが絆を強くし、仕組みを作

って、難局を乗り越える必要があると考えます。

● 法人化登録後の情報発信と説明

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区が法人化登録して丸2年が過ぎました。まだ具体的な活動はなされていませんが、現在ワイズメンズクラブの概要書(ワイズ紹介の「会社案内」のようなパンフレット)をまとめ印刷に発注したところです。対外的にワイズが奉仕団体として実施していることを説明するときにご利用ください。またワイズ入会候補者にご説明するときにもご利用ください。法人推進委員会では法人のメリツをト生かした活動するために必要な資料や仕組みについて検討しております。今後とも進行の状況を理事通信等で情報発信をしております。

● 東日本区大会について

最後になりましたが、区大会はコロナのために中止が続いておりましたが、2022-23年度の東日本区大会は、4年ぶりにリアルで甲府21クラブのホストで、6月3日4日に山梨県甲府市で実施出来ました。天候にも恵まれて293名の参加いただきました。北は北海道部から南は西日本区九州部・熊本からの参加もいただきました。遠いところありがとうございました。

メインのプログラムに、ユースのアワーを1時間取り活動の発表をしていただきました。YMCAとワイズが協働実施した、ユースアクションSDGsの発表2名(甲府21支援)・松本クラブ支援の「アジア受賞の留学生の日本での体験発表」を2名に行っていただきました。若く元気で頼もしい発表は好評でした。これからもユースにスポットライトを当て発表の場を多くすることが必要と思います。

本大会は、コロナ禍の中ではありましたが、久しぶりの和やかなで楽しい交流ができましたことに関係の皆さんに厚く御礼申し上げます。大会運営にはホストクラブ実行委員長荻野さんはじめ、実行委員会、クラブの皆さん、メネット委員会、甲府クラブ、富士五湖クラブ、甲府やまなみクラブ等関係者そして東日本区の書記をはじめとするキャビネット、役員、監事、事務所長、YMCAの皆さんに大変お世話になりました。

最後に、エルマー・クロウ賞の受賞者2名および国際ブラスター賞(個人賞)受賞者をご紹介します

【2022-23年度 東新部部長 深尾香子さん】

(東京多摩みなみクラブ)

東日本区の中で部の平均年齢72歳と高齢化の進む東新部7クラブを担当されました。部長活動の方針を「クラブの体力回復」を重点項目として掲げ、活動されました。部長公式訪問(各2回)を実施し・各クラブの実情をヒアリングし、不足のクラブにはその後も頻りに連絡を取りフォローされました。新しい試みとして部内の「会長会」、「Y友広場」(各12回)等開催し、懇親の機会を創出しようとされました。ヒアリングの事例として、クラブ解散の問題について、親身になって相談に乗り、解散を思いとどめていただくように説得されました。また、部内のクラブ間での、2年前から実施している合同例会等積極的に促進し、交流の機会を多く持ちました。結果として、2クラブの合併に発展しました。さらに、新入会員数も6名増加(2年間で)になりました。ユース活動(SDGsユースアクション)については毎回の公式行事には、必ずユース活動の重要性を説き、理解を得るように努力されました。このように改革改善の活動は素晴らしい結果に実を結び(新入会員の増・懇親機会増・ユース事業拡大)、今後継続して発展することを期待しています。

【2022-23年度 あずさ部部長 後藤明久さん】

(富士五湖クラブ)

東日本区の中で、あずさ部(クラブ数10クラブ・会員数171名)は範囲が広く会員数も最も多い部であります。部長主題「ワイズへの参加と交流を楽しもう」を掲げ、広いエリアを、スピードと、強いリーダーシップを発揮されて部内の公式訪問・評議会等を実施していただきました。副主題を「とにかく参加しよう、リアルとズームで行動し発信しよう」とし、部長の期間中はコロナ禍でありましたが、ワイズの活動は、リアルの交流を盛んにし、親睦を深めることにより、より良く発展するものと呼びかけました。10月15日開催の、あずさ部大会と富士五湖クラブ設立20周年記念例会を同日に実施しました。部長の住まいのある、山梨県忍野村(富士山の伏流水豊で富士山の綺麗に見える場所)のいちい亭で75名の参加で実施されました。後藤部長の強い決断で大会・懇親会はリアルでやりましょう、リアルでなければ真の交流は出来ないとの考えで実施されました。久しぶりのリアルでの部大会・20周年記念例会・懇親会は終始和やかで大変楽しいものでした。

会員増強に大変厳しい時代ですが、2022年9月3日には甲府やまなみクラブが誕生し、11名の会員増となりまし

た。東日本区として大変うれしい誕生でした。今後ともあ
ずさ部が交流を盛んにされ、親睦を深められ発展すること
を期待いたします。

国際ブースター賞(個人)受賞者は、以下のとおりでした。

- ① 仙洞田 安宏 さん 甲府やまなみクラブ 6名
- ② 大澤 和子さん 所沢クラブ 4名
- ③ 藤原一正さん 甲府やまなみクラブ 2名

この1年間、皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げ
ます。ありがとうございました。

次期理事としての1年を振り返って



2022-23 年度次期理事 山田公平(宇都宮)

佐藤年度の感想:佐藤理事は甲府 21
メンバーで、クラブの勢いがあり、さら
には新クラブを立ち上げたことも、この
年度の進め方を自ら表現されていま

た。100 周年記念祝賀会(台湾)でも、東西日本区交流会
(神戸)でも自クラブメンバーを多く送り込み、目指すもの
への責任を果たそうという姿勢が伝わってきました。

次期理事としてできたこと:長く YMCA に勤務していたの
ですが、ワイズでの経験は相当違っていることに驚かされ
ていました。佐藤年度の強調点は、会員増強でした。ちょ
うどチェンジ! 2022 委員会の最終年度でもあり。どのような
工夫や発想が必要か、取り組みながら考え、努力をしてき
ました。現状理解のための分析も理事通信を通して伝え
ていく努力もしました。それらは、次期理事として新たなビ
ジョンを生み出す学びになりました。

次年度のために学んだこと:一番力を入れていた会員増
強でしたが、結果的には入会 40 人、退会者 88 人という
結果に終わりました。こうしたら会員は増えるだろうという
発想は何度も試みられましたが、残念ながら時代の流れ
には抗えない現実です。2021 年度から話し合っていたユ
ースアクションは、佐藤年度の年にその成果を見ることが
できました。全国で 10 のユースアクションプロジェクトが行

われました。東西日本区と日本 YMCA 同盟の協働事業と
して行われたので、企画から実行、評価まで全て、その特
別実行委員会の主導で行われました。評価は高く、中間
発表会、東西日本区交流会、そして東日本区大会でも発
表され、その効果を感じることができました。もっと具体的
な働きやサポート体制をワイズに感じてもらうようにするこ
とが課題だと感じました。これを新年度ワイズの方針とするこ
とになりました。

直前理事として



2022-23 年度直前理事 大久保知宏(宇都宮)

佐藤理事を支える理事トロイカの一角
として直前理事を勤めました。直前理
事は同時に職責として、法人推進委
員会委員長、指名委員会委員長を務
めることとなりますが、その業務量は理事に比較すると少
ないものの、時間を要する状況となっていました。指名委
員会では、次期理事候補者、監事候補者といったことを
決めるため、多くのワークが発生します。特に次期理事が
自身の期の区大会のホストを探すことが求められ、見つけ
ることが難しく、次期理事の候補者指名にとって障害とな
っています。区大会ホストクラブの選定を次期理事の役割
から外すことも考慮すべきと思いました。区大会をクラブが
ホストすることは、クラブの体力が落ちている状況では難し
く、部単位での区大会ホストなどを視野に入れて検討す
べきと思います。

皆様に支えられました



書記 清藤城宏(甲府 21)

佐藤理事から、是非書記として協力
してほしいとお声がけに、仕事もリ
タイアし、時間ならとれる、過去 10 年
前にも書記を仰せつかり何とかこな
せたのでそれを迎ればまだ大丈夫
か、と引き受けました。しかしいざ書記の職についてみると、
とんでもない話で、昔と違ってすべきことは山積み、会議
もオンライン、Zoom にほとんど変わり、東日本区事務所に
足を運ぶ機会も少なくなり、皆さまとの連絡も電子化で済

むようになっておりました。

今回振り返って見ると、常任役員会では情報の共有化が図られ、必要な協議事項が先へ先へとよく議論され、その熱心さはこれまでの経験にないものでした。このことを皆さんに直接お伝え出来ませんが、この常任役員会で良く議論されたからこそ今期のすべきことがスムーズに運営できたと感じております。これはコロナの影響を受けてオンラインの導入の賜物でもありました。また、理事通信は、毎月山本副書記の編集能力に助けられ、情報満載の情報誌が発行出来ました。これも紙でなく電子発行でしたので、どれだけの方が実際に開いていただけたのか把握出来ませんでした。今後とも重要な情報発信源として、会員の皆様に目をとおしていただきたいと思っております。IT 化が進むことは、情報、意思疎通、意思決定等が迅速に進められることはいいのですが、必ずしも全員がそれについていけないこともありました。その点、まだまだ改善考慮の余地があります。

振り返ってみればあつという間の 1 年間でした。新しい方々との出会いも出来、多くの事を新たに知りえた、それは役得でした。何とか皆さんに助けられ少しでも前進して終えることが出来たと感じております。特にいつも田中行政監事に助けていただき、感謝申し上げます。

会計の任を振り返って



会計 荻野 清(甲府 21)

2021 年 7 月 1 日から、「一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」となりました当法人は、2 期目を終了したとろです。今期の当初から中頃まで

は、コロナ禍でもあり、各部、各クラブでの例会やイベント等が不本意の状況にあったにもかかわらず、各位のご力で、徐々にワイズ活動が活発化し、後期中盤から活動が顕著に表れてきた感があります。特に、終盤に開催された第 26 回東日本区大会がその一つでした。為替相場に関して、予算策定時に比べて幅な円安が進み、国際会費等や国際献金等がスイスフラン/米ドル建てのため、会費負担の増加、献金額の目減りが生じました。また、日本の消費者価の高騰などから、区事業費増が発生しました。法

人化後の 2 期目は、前年と変わらず、法人化前の任意団体としてのみなし法人の経理処理を行っており、複式簿記による経理処理をおこない、会計報告も従来通りの収支報告書、貸借対照表、財産目録の形式で作成しました。税務官署への税務申告につきまして、法人税の申告一般社団法人(非営利型)なので、2022-23 年度は収益事業がなかったため申告不要となりました。ただし、法人都民税の均等割は都の条例により納税務があり、申告提出と都民税 70,000 円の納税義務発生しております。

次期の会計予算として、ユース事業関係で、現行の経常会計から特別会計へと移管(経常会計からユース事業ファンドへ 100 万円、FF ファンドからユース事業ファンドへ 50 万円を移管)されたことを記します。

この 1 年間、副会計の山口さんと協働し、小林区事務所長さんの多大な労力で共に会計業務を進めてきました。そのそれぞれの場面で、財政監事の小倉さん、行政監事の田中さんから、的確なアドバイスやご指導により、一般社団法人ワイズメンズクラブ東日本区の会計を進められたことを感謝いたします。

1 年を振り返って

地域奉仕・Y サ事業主任

小山久恵(東京サンライズ)



実際に顔と顔を合わせてのリアルの東日本区区大会を 4 年ぶりに催すことができました。あちこちで笑みを浮かべながら、再会を喜んでいる光景が見られました。こんな時にワイズっていいな、と感じます。

西日本区の何人かの方からも、暖かい会だったわねと言われました。

事業において CS では、思ったほどコロナの影響は大きくなく、例年どおりに行ったクラブも結構ありました。反対に、コロナ故、困っている人々を助ける活動が、新たに立ち上がりました。また、YMCA がコロナ禍での活動を、工夫してワイズマンも活躍しました。

1 年を振り返って 会員増強は、古くて新しい永遠のテーマ



会員増強事業主任
佐藤節子(厚木)

1 年間お支え頂きまして誠に感謝申し上げます。微力ながら事業主任という重責を担えたのも、一重に皆さんのお力添え、ご支援の賜物であります。

各部事業主査北海道部矢竹さん、北東部菊地さん、関東東部金丸さん、東新部加藤さん、あずさ部市川さん、富士山部深澤さん、直前事業主任大川さんはじめ、佐藤重良理事さん、キャビネットの清藤書記、荻野会計、山本副書記、目的達成のため委員会を拡大して Change! 2022 栗本委員長、藤井さん、板村さん、各エクステンション委員長さんに加わっていただきました。その他、間接的にご支援いただきました皆さんに、この場をお借りしまして改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

東日本区会員増強事業委員会では、最初にやることは、知人友人およびその他の方法等で入会しそうな方たちのリストを作りましょう。そのリストに基づいて 100 日間キャンペーン(9 月 1 日~12 月 6 日)を実施しましょう! と目的達成に向けて呼びかけさせていただきました。特に事業主査さんは区および部の方針に沿っての活動は大変だったと思います。

2022 年 7 月、総会員数 770 名のスタートで始まり、キャンペーン効果も含め 40 名の入会がありました。しかし退会者が 88 名あり、結果として 2023 年 6 月は 726 名で引き継ぐことになりました。

会員増強は永遠のテーマ、古くて新しい課題です。入会者はもとより退会者が出ないような楽しいクラブづくりが大切です。

増強という土壌を耕す方法は、各クラブの地域性における個々なる特異性。個性を認め合い、お互いに交流を深め所属クラブ・部ができる方法で開拓できたら最高であります。

結びに、さらなるワイズのご発展を祈念しながら一年の振り返りといたします。ありがとうございました。

国際・交流事業主任として 1 年を振り返って



国際・交流事業主任
利根川太郎(川越)

東日本区大会では、大変お世話になりました。皆様に支えられて、国際・交流事業の年次報告を無事終了することができました。

昨年度は、科学技術振興機構での勤務が予定外の 1 年間延長となった上に新しい部署での勤務になったので、国際・交流事業主任としての責務が果たせるか全く不安ばかりの船出でした。

しかしながら、経ってみればあつという間の 1 年間でした。各部主査の佐藤さん、山田さん、柳瀬さん、為我井さん、ピーターさん、古賀さん、小澤さん、佐藤理事とキャビネットの清藤さん、山本さん、トラベルコーディネーターの加藤さん、途中からは次期国際・交流事業主任の板村さんはじめ次期委員の皆さんに支えられて、何とかここまでこぎ着けることができました。本当にありがとうございます。心から感謝いたします。

国際・交流事業委員会は、全て Zoom によるオンライン会議とし、10 回の会議を開催いたしました。事業主任として心がけたのは、1 回の会議を 1 時間程度で完了することでした。会議が、参加する皆さんの負担にならないように、少しでも参加しやすくすることがねらいでした。皆さんのご協力で、国際・交流委員会は比較的スムーズな運営ができたのではないかと感じています。

まだまだやるべきことは多かったと思いますが、課題は最後の第 10 回国際・交流事業委員会で次期に引き継ぎました。1 年間楽しく活動させていただきましたことに改めて感謝申し上げます。

ユース事業主任としての 1 年間の振り返り



ユース事業主任
衣笠輝夫(埼玉)

今年度「YMCA と協働し、ユースの育成を」を主題として、取り組んできました。もともと YMCA との協働事業である「ユースボランティア・リーダーズフォーラム」は、今年度、厳重なコロナ感染対策を強いたにも拘わらず、盛岡、仙台、とちぎ、ぐんま、埼玉、

千葉、東京、横浜、山梨の各 YMCA から 28 名のボランティアリーダー、5 名のカウンセラー、3 名の YMCA ユースタッフ、そして東京 YMCA スタッフ 2 名が参加して行われました。これまで予算作成と原資の確保、主題テーマの検討等をワイズメンズクラブが行い、プログラムは YMCA が行う協働作業で、より充実したフォーラムが開催されてきました。近年価値観の多様化、各都市 YMCA の活動分野の拡がりの中で、「今ボランティアリーダーに求められること」からさらに、リーダーの人的成長、社会課題に取り組むスキルの育成などのニーズが生まれています。基調講演の内容も「自分をよく知る」、「社会的課題への視点」などへの拡がりを見せました。これからは YMCA とワイズがユースと一緒に活動する「SDGs ユースアクション」へと発展することが期待されます。ワイズメンが行う国際・ユースコンボケーション (IYC) やアジア太平洋地域ユースコンボケーション (AYC)、オープンフォーラム Y、iGo についても、都市 YMCA・学生 YMCA との関わりの中からより新しい考え方や発想が出てくると思われます。

評価と展望



ワイズメネット委員会

委員長 松村仁子(甲府 21)

2022 年 11 月にメネットの実態を知るためのアンケート調査を行ないました。その結果、ワイズメネットの役割、ワイズメネット会の有無などについて関心の低

さが伺えました。当初ワイズメネットの存在は、夫ワイズメンの働きに後方より援助することでした。それが、独自でも活動を企画し、YMCA のためにも働く組織になっていくワイズメネット会も生まれてきています。夫は関係なく、一人の女性としてワイズメネット会の会員になる人たちも、出てきています。ワイズメンの働きの応援という、本来のワイズメネットの役割も大切ですが、ワイズメネットの組織化を通して自立した会が生まれていくことが望ましいです。国際組織でもあるワイズメネット会は、世界視野に立って自分たちができるボランティア活動を展開していくことが大切です。とは言え、ワイズメネットの高齢化、コロナ禍によりワイズメネット会を解散したところもいくつかあります。

ワイズメネット会が今後も必要なのか否かを話し合う機会

を持つことを考えましょう。

部長職を終えて



北海道部部长
小谷和雄(札幌)

疲れました。決して歳のせいとは言いません。私より先輩の方が多くいらっしゃる中で、甘えの気持ちはありません。私の同期は戦中派と戦後派

が同居する年代です。実は寝不足です。給料を貰いつつのボランティア活動はきついものがあります。たとえ、パートとは言え、慣れない教会の事務・会計事務をひとりでしています。数年前までは事務員はもうひとりいましたが、代わりの人を採用せず教会員が交替で「仕事」と言っても、実質、給料を貰っている者が仕事せざるをえませんでした。無償です。部長職は 2 度目でしたが、今回は、部長として十分に仕事が出来なかったことをお詫び致します。部書記の時に体調不良の部長を補佐し、東日本区大会用に情報の取りまとめ、大会会場での発表までしています。今回はスタッフ不足もありましたが、部長を選出した所属クラブの札幌北が、身動きできなくなり、部長がクラブ会長を「兼務」すると言った、「変則」も足かせになりました。結局、会員増強どころか、クラブを無くしてしまいました。

また、直前部長に着任する前に、札幌市清田区北野地区青少年育成委員会委員を、「ワイズが忙しくなるから」と 21 年間の委員を辞任して気が楽になったところで、1年後に「町内会会長」にさせられてしまいました。町内会の仕事も 50 年近く同一町内に居住していれば役が当たるのは分かります。忙しいので最近「会計監査」だけ引き受けていたのが、良きせぬボランティアの掛け持ちになり、大変でした。

北海道 YMCA に対しては、ワイズとしてのサポートの他に、会員委員会・常議員会・理事会などに連なっていますが、苦にはなっていませんでした。

北海道部として、毎月ニュースレターを発行出来たことは成果と思いますが、部報の発行、クラブ公式訪問も 1 回ずつになったのも反省材料です。「兼務」の善し悪しを十分検討する必要があります。気持ちだけで「会の運営」は出来ませんでした。

ごめんなさい。深くお詫び申し上げます。

北東部部長として



北東部部長
大久保知宏(宇都宮)

2022-23 年度は「クラブのミッションを育てよう」を主題として活動しましたが、前年度に続き、新型コロナの影響を受けた 1 年でした。部長公式訪問も感染状況に配慮した形で行うことになり、全クラブを訪問することが出来ませんでした。また、それぞれのクラブの体力が落ちてきていることから、部としての新たな役割をお願いすることが憚られ、広いエリアでの部の活動の難しさを改めて認識した 1 年でした。

そんな中でも、福島市で活動する牧師の方との知己を得て、福島市での YMCA 運動、ワイズメンズクラブの新設への第 1 歩を歩みだすことができました。福島県には以前、会津クラブがありましたが、1 昨年末に解散となり、空白県となりました。その空白を埋めるような活動を継続していきたいと考えます。

会員増強については、評議会で意見が出され、北東部の 10 クラブとも支援する地域 YMCA があることから、YMCA の賛助会員を増やす活動をそれぞれのネットワークで行うことを推進することにいたしました。まだ成果は上がっておりませんが、YMCA との協働も可能な分野でもあることから進めやすいと思っています。

関東東部一年の振り返り



関東東部部長
工藤大丈(東京ベイサイド)

ベイサイドクラブとして、初めての関東東部運営ということで、引継ぎはいただいたものの、右も左も分からないところからの開始となり、期間中、大澤直前部長他みなさまに助けをいただいで感謝の他の言葉はないです。改めて感謝申し上げます。

自身や部を率いるというところにおいては、継続しての課題、魅力的な CS、新規メンバーの獲得、部の拡大というシンプルなイメージでトライを行いましたが、コロナや自身の仕事の多忙さに振り回されて、十全に対応できなかった

と反省しきりです。また、関東東部だけでなく東日本区全体の問題でもあるが、高齢化、ドロップ、EMC に上手くつながらないという直近のテーマに関しては、長尾部長に引継ぎ送りたいと思います。まずは自身としてはベイサイドの一員として立ち回り、CS 活動の本格再開へと動いていければと存じます。

東新部 1 年の振り返り



東新部部長
深尾香子(東京多摩スマイル)

「ALL 東新部、始動! Change! 2022 ラストスパート、ポスト 2022 始動」を部長主題として掲げたのは、各クラブの体力回復を重点項目とし、併せて部としても相乗効果を狙ったものです。

手法として、部長公式訪問(各クラブ 2 回)においては、各クラブの実情に切り込んでヒアリングを行いました。2 度で不足と判断したクラブにはその後も頻繁に連絡を取り合いました。その他、Zoom を活用し、月例にて「会長会(会長・部役員 12 回)」と「Y 友広場(有志・12 回)」を開催して、従来の評議会(3 回)、部大会(1 回)を越える懇親の機会創出を試みました。その結果、後期には複数の企画がクラブを越えて立ち上がり、参加者は「部」を跨ぐ結果となり 50 名強を数えました。(パソコン勉強会 3 回、ワイワイウォーク 1 回)。この体制は、次年度へ引き継がれ、現在、2 つの新事業の準備が始まっています。(2023 年 8 月現在)。一方で【ワイズメネットとワイズウィメンによる交流会】、【プロボノ発掘(新たな連携への調査、研究)】、CS、Y サ事業の精査】、【地域団体との人脈構築～広報活動】【学び: 災害時の身の処し方】は、夫々準備をしましたが、十分な結果は得られず、次年度へ託しました。

Y's × SDGs Youth Action2022 への理解は、年初は困難かと思われましたが、公式行事のすべてで必ず触れるようにし、該当するユース(NPO 法人メタノイア)との接点も設けた(月例、Zoom または対面)結果、皆にとって目に見える協働対象となりました。年度末には、同団体(ユース)と、東新部(ワイズ)、東京 YMCA の 3 つが繋がり、支援対象である児童が、東京 YMCA 山中湖センター 100 周年記念事業へ参加予定(2023 年 8 月 22 日(火)～8 月 24 日(木))です。

あずさ部部長を振り返り

あずさ部部長
後藤明久(富士五湖)

あずさ部 11 クラブの部長公式訪問を通じて各クラブの特徴を見て、ワイズの奥の深さと楽しい連携を感じました。新しいメンバーの甲府やまなみクラブチャーターナイトにも参加できました。東日本区役員会はズームが多く、役員間の交流はいまいちでしたが、あずさ部行事は原則リアルで行い、昔ながらの交流を持てました。実は長野クラブは行けなかったのが、次年度部大会で訪問させていただくことにしています。

3 回の評議会、あずさ部大会もすべてリアルで開催出来、『ワイズへの参加と交流を楽しもう』という部長主題を実現できた気がします。あずさ部大会は富士五湖クラブ 20 周年記念例会もかねて私の住む忍野村で、75 名参加で開催出来たのも感無量です。またその時のアトラクションのフォークデュオの「尾崎時恵さん入会」は大きな前進と新しい富士五湖クラブへの予感がしました。親クラブの甲府クラブ、会員数トップの甲府 21 クラブを先頭に、新クラブの甲府やまなみクラブ、合同例会を組む東京サンライズクラブや東京武蔵野多摩クラブ、ユース交流の東京八王子クラブ、アジア賞の松本クラブ、伝統の東京西クラブ、リビイ支援の東京たんぼぼクラブ、あずさ部最北の長野クラブまで、色とりどりです。あずさ部は、元気度 100%を目指して頑張っていけると信じています。

甲府の東日本区大会では御殿場クラブや東京武蔵野多摩クラブの面々と部の垣根を超えた歌合戦があり、熊本での西日本区大会では DBC 交流を含めた多くのワイズとの交流を楽しみました。交流こそ第一、で活動していこうと思いました。今後ともお付き合いのほどよろしくお願い申し上げます。

部長として1年間の活動を振り返って

湘南・沖縄部長
小松仲史(厚木)

先ず強く感じたことは、この役職を受け、実に多くの事を学び、充実した 1

年間であったことです。特に YMCA への理解はがより深くなったと同時にまだまだ分からないことも多く、これからも学びたいと思っています。ワイズメンズクラブだけではなく各種の団体では会員数の減少に直面しているところが多くあり、我がワイズメンズクラブでも大きな課題となっています。その中で様々な取り組みを行い、それぞれ活動してきましたが中々根本的な改善には至りませんでした、2 月に神戸で開催された東西日本区大会ではロータリクラブ・ライオンズクラブ・キワニス・ワイズとのディスカッションの中に答えに近づく発言があったと感じています。それはクラブの在り方として、今までの慣習にとられない形のクラブを目指しているとの発言でした。具体的には、スポーツに特化したクラブ、音楽に特化したクラブなど今までの枠を超えたクラブづくりがあっても良いのではないかと言うことです。小松も個人的に音楽に特化したクラブを作れたら良いと思い活動をしています。

佐藤理事、清藤書記の実に献身的な活動には心から敬意を表します。何があっても決して怒らず纏めていく力強さは多くの事を教えて頂きました。

皆様に感謝！

富士山部報告

富士山部部長
前原末子(御殿場)

「広めよう 地域社会にワイズの理念と奉仕を」を目標に掲げスタートした一年でした。新型コロナウイルス感染拡大を懸念しながらの活動を、各クラブともに知恵と実行力で実践してくれました。また、年間の最大行事である「部大会」は、同様の理由で、中止という苦渋の決断をせざるを得ない状態でした。この行事は、地域にワイズの知名度アップに絶好の機会であったのですが、それができずに残念でした。次期富士山部活動は、平常活動が基本となることでしょう。前年度の不完全燃焼の分までワイズメンの力を集結させ、それをパワーに変えていただきたいと思います。そして、若者の会員増強の促進を切にお願いしたいと思います。

最後に、富士山部の会員・ワイズメネットの皆さんに多くのご協力を賜り、無事 1 年間を終了することができました。

感謝しかありません、誠にありがとうございました。次期富士山部の活動にも同様のご協力を頂きますよう宜しくお願いいたします。

行政監事の務めを終えて



東日本区行政監事

田中博之(東京多摩スマイル)

東日本区行政監事として 2 年間の務めを終えました。多少なりとも、東日本区の運営のお役に立てたとしたら幸いです。監事にとっては監査も大切な仕事ですが、監査や各会合での監事講評で問題点を指摘することよりも、東日本区役員会や常任役員会での議論の段階や日々発生する事に対してタイムリーにアドバイスを行わせていただくことを心掛けました。いささか口うるさい監事であったかと思いますが、真摯に耳を傾けてくださった佐藤さん、大久保さんはじめ 2 年間の東日本区の役員の皆さんに改めて感謝と敬意を表します。

監事の務めのひとつとして、東日本区としての意志決定、行動が東日本区定款、定款施行細則等のルールに則しているかを確認することがあり、このことに特に力を注ぎました。ルールは公正、公平な活動を行うために定められているとともに、過去の経験や叡智に基づいており、東日本区の運営をスムーズに進めていくためのガイドブックでもあります。東日本区の役員を務められる皆さんが、これらのルールあるいはマニュアル、手引き類、過去の東日本区役員会、各委員会等での議論、議決に精通され、適切、円滑に役目を果たされていかれることを願い、また、そのために、必要な者が、これらの書類を容易に参照できる仕組みの整備を望みます。

今、東日本区あるいはワイズ全体は、様々な課題に直面していて、対策、改革が必要とされています。「前例に囚われず」という言葉を耳にしますが、ルール、前例およびそれらの精神・背景を良く理解した上で、必要なら、時代に則したルール等の改定も行い、ひとりひとりが夢と希望を持ち、その実現に向けて、明るくポジティブにそれぞれの課題に取り組んで行かれることを願って、行政監事退任のご挨拶とさせていただきます。

監事活動報告



東日本区財政監事

小倉恵一(甲府)

今期は 10 年ぶりに監事を仰せつかりましたので、現在の区の定款等や運営の状況および 2021-22 年度に設立された一般社団法人の定款との関係等々を学ぶことからスタートしました。監事は第 1 に「代議員会、役員会、常任役員会に出席することができ、必要な勧告、報告、意見、助言を行う。」と云うミッションですので多くの会議に陪席させて頂きましたが、ワイズ活動経験豊富で精力的な田中行政監事のご教示を頂きながら、なんとか務めさせて頂いた 1 年でした。

また、財政監事としては「財政において公正な処理・処置が行われているかを確認する。」のがミッションで、「Change!2022 推進委員会(栗本治郎委員長)の最終決算」と区の「2022-23 年度中間決算」の監査をさせて頂きましたが、区の確定決算は「監査を年度終了後、原則として 8 週間以内に実施し、その結果を区報、理事通信等で代議員と会員に報告する。」(一般社団法人の関係で臨時代議員会を開催して承認を得る)こととなりますので、皆様には是非それをご覧頂いて、区の財政状態にも注視願いたく思います。なお、2023-24 年度からユース関連収支を特別資金会計(ユース事業ファンド)に移す関係で、2022-23 年度決算の次期繰越金残高は減少します。1 年を経て改めて、佐藤重良理事の強いリーダーシップの下での役員や委員会の皆様の働きを始め、会員の皆様のワイズへの熱い想いや日ごろの活動にはただただ頭の下がる思いです。次年度もその想いを担保する意味からも、しっかりと監査させて頂きますので、よろしくお願い申し上げます。

文献・組織検討委員会報告



文献・組織検討委員会

委員長 駒田勝彦(甲府 21)

2022-23 年度東日本区文献・組織検討委員会は、委員 10 名に東日本区理事、次期理事の同席を頂き 11 回の

委員会を開催しました。協議項目は、各マニュアルについて、青年会員の開設、国際協会マニュアルの和訳、理事等指名委員会のあり方等全 8 項目について、各担当者を決めその方々による熱心な研究検討された結果の提案について全員協議を重ね内容によっては数回の委員会での協議をいたしました。委員皆さんは、毎回真剣に熱く協議をしてくださいました。その結果につきましては、委員会決議後、案件ごと速やかに答申を行い、最後には第 4 回東日本区役員会前の常任役員会に間に合わせ、答申および提案事項を理事あてに提出いたしました。委員の皆様には、大変お忙しい中各担当の事項についてご検討いただきましたこと厚く御礼申し上げます。皆様のご支援、ご協力によりまして答申・報告ができました。

願わくは、答申・報告事項の結果についてご報告をお願いいたしましたが、その後、それらの処理状況については定かではありません。答申や提案事項は、東日本区の運営をより充実させ、関係者の皆さんのお役に立てると考えています。東日本区の運営がより一層充実し関係者の皆様のお役になるものと委員一同誠意を尽くしているものです。各処理すべき事項は速やかに行われますことを願っております。

LT 委員会の一年を振り返る



LT 委員会

委員長 山下 真(十勝)

私が LT 委員長を拝命して初めて対面で「会長・部役員ワークショップ」を 3 月 4 日・5 日に東山荘で開催することができました。久しぶりに一堂に会しての研修会は素直に楽しかったのです。研修会でなくてワークショップという事業名称に我々は何を込めたのか。山田次期理事の方針案を初めて聞いた時にその粗削りではあるものの前例のない考え方にびっくりしましたが、一方、期待を大きく膨らませました。そして、山田さんの持っている改革の志を、更に実効性を高め洗練させ、メンバー一人一人のものに作り上げ、あらゆるレベルの活動の担い手がその運動を指導し実践し支えることが必要だと考えました。しかし、そんな思いとは裏腹に我々は十分な成果を上げられなかったのも事実です。オンラインだろうが対面だろう

が研修の成果は参加者の努力と自覚にも掛かっていると考えます。新年度も「充実したクラブライフ」を追求する皆さんに資するリーダートレーニング事業の改善を模索し続けます。今後も LT 委員会の活動をお支え頂きますようよろしくお願いいたします。

東日本区ワイズ基金報告



東日本区ワイズ基金委員会

委員長 高田一彦(千葉ウエスト)

今年度も、厳しい環境の中で、ワイズ基金への献金感謝です。

今期の献金は、832,000 円となりました(献金一覧は 2022-23 年度東日本区年次報告書参照)。

支出としては、トルコ・シリア地震補填分(区の目標の差額が発生しましたが、Change! 2022 の繰り戻し分として 766,01 円がありましたので、最終的には 14,707,997 円の残高となりました。

期首 13,408,476
 収入 6,017
 (Change! 2022 の繰り戻し 12/30)
 23(普通預金利息 8/22:6,2/20:17)
 161 (1,000 万円定期利息 6/27)

期首 13,408,476

収入 6,017

(Change! 2022 の繰り戻し 12/30)

23(普通預金利息 8/22:6,2/20:17)

161 (1,000 万円定期利息 6/27)

献金 832,000 (献金一覧参照)

支出 298,680

(トルコ・シリア地震補填分)

*目標の 100 万に対する不足分

期末残高 14,707,997 (6/30)

奈良傳賞選考委員会報告



奈良傳賞選考委員会

委員長 佐藤重良(甲府 21)

2022-23 年度の奈良傳賞受賞者に関して「奈良傳賞選考委員会規則」に則り、以下のとおり選考を行いました。

・理事通信 2 月号で各クラブ会長に候

補者の推薦を依頼(締め切り:2月末日)

- ・4月1日に奈良傳賞選考委員会を開催し、締め切りまでに届いた推薦書をもとに審議し、2名を内定
- ・受賞者の意向を確認した上で、5月9日に受賞者を確定
- ・受賞者 田村修也 さん(那須クラブ 1940年3月13日
生まれ 83歳)
鈴木健司さん(甲府クラブ 1935年9月18
日生まれ 87歳)
- ・授賞式 第26回東日本区大会 6月4日に実施

東日本大震災支援対策本部報告

本部長 佐藤重良(甲府 21)



本年は、東日本大震災の発災から12年となりました。石巻広域クラブから東日本大震災支援活動プログラムである「3.11 みんなの文庫の会」の活動への支援の要請があり、東日本区大震災支援対策本部の会議で審議した結果、東日本大震災支援募金の残高から200,000円を支援することに決定いたしました。この支援金は、3月11日に仙台YMCA、仙台4ワイズ連絡会議、東日本区、東北ヘルプの共催で石巻栄光教会にて開催された「3.11 追悼礼拝と感謝の会」の席上で贈呈されました。

Change! 2022 プロジェクトを振り返り

Change! 2022 推進委員会

委員長 栗本治郎(熱海)



2022年をゴールとする会員増強運動の『Change! 2022』が、2022年12月末に終了となりました。EMCアンケートを参考に作成した『アクションプラン』やワイズ紹介サイト『動画で分かるワイズメンズクラブ』など様々な取り組みをしてきましたが、コロナ禍や会員の高齢化によるクラブの解散など、会員の減少傾向を抑えることが出来ませんでした。Change! 2022が実施したアンケートにより、会員の多くは、ワイズに奉仕を目的として入会され、同時に親睦や社交も求めています。奉仕と親睦の

両輪なくしてクラブの活性化も会員増強も望めません。活発な奉仕活動、親睦を通じた楽しいクラブライフ、例会の充実がクラブの発展に繋がります。その具体的なヒントが、アクションプランやChange! 2022 ニュースの中にあります。コロナ禍の3年間、中止を余儀なくされていた奉仕活動やクラブ事業も、ほぼ実施されるようになり、例会もリアルに開催されるようになりました。東日本区大会も開催されました。新たな気持ちで会員増強に取り組んでいただきたいと期待しています。高齢化により解散を余儀なくされたクラブが有りますが、他にも会員の減少と高齢化により、存続の危機を迎えているクラブも多々あります。合併による会員増により、クラブの活性化を目指すクラブも有ります。会員増強に特効薬は有りませんが、是非、各クラブ知恵を絞って活性化をはかりましょう。

東日本区事務所人事委員会報告

東日本区事務所人事委員会

委員長 山田公平(宇都宮)



1月31日に小林現事務所長に継続の意向について打診しました。その結果、本人から継続の意思がある旨を確認しました。文書にて人事委員会を開催し、その結果、5人中4名が継続に賛成であり、小林現事務所長の任期を延長することにしました。本件、2月27日開催の常任役員会で報告、承認されました。

法人推進委員会委員長として

法人推進委員会

委員長 大久保知宏(宇都宮)



2022-23 年度直前理事の職責として法人推進委員会委員長を務めました。委員会では、「教宣動画」、「サポート体制」、「一社概要書」、「一社運営マニュアル」、「ユース向け新事業」の5つのワーキングチームを作り活動しました。年度末に「一社概要書」は完成しましたが、他の4件は完成にいたっておりません。「一社概要書」については、最新状態で印刷

するため、修正作業を行い、近々、各クラブに配布することを予定しています。また、区の事業であるユースボランティア・リーダーズフォーラム運営費について補助金を次期において申請することを予定しています。補助金申請の経験を委員会として持つことで、クラブにおける事業においても補助金申請のノウハウを提供できるようになりたいと考えます。

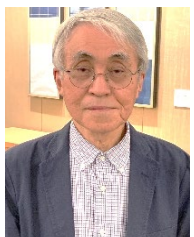
IT アドバイザーとして



IT アドバイザー 大久保知宏(宇都宮)

2022-23 年度 IT アドバイザーの大きな役割として、東日本区ウェブサイト更新が挙げられます。更新の目的は、一般社団法人として、外部に正確な情報を提供し、会員増強の一助になることです。法人推進委員会で進めた「一社概要書」の作成作業が、ウェブサイトの更新作業にも良い影響を与えており、同時進行させた効果があったと思われます。今後、このウェブサイトで、タイムリーにトピックスとして情報提供が行われるように、広報・伝達(PR)専任委員と連携し、各クラブの情報収集に努めていく必要を感じています

ヒストリアン活動報告



ヒストリアン

仙洞田安宏(甲府やまなみ)

コロナウイルス感染症が感染症法の第5類になったことで、ワイズ活動もコロナ以前に戻りつつあります。この3年間、自宅で保管しておいた様々な資料類を、4月上旬まとめて日本 YMCA 同盟会館にあるワイズの本棚に保存しました。久しぶりにヒストリアンの仕事をした思いです。今期感じたことを2点挙げます。一つは、2月に開催された東西日本区交流会でのプログラム「東西日本区25年の歩み」の準備段階でのことです。歴代の東日本区理事の肖像写真を揃える役目を仰せつかりましたが、これが意外にも困難でした。聞くところによると西日本区では理事の肖像写真を保存するのが慣わしになって

いるようです。今後は東日本区でも同様にすべきと思います。また、理事の写真に限らず、様々な活動について文献以外にも画像(写真)での保存の必要性がますます高まると考えられます。これらは現在、個々のワイズメンの奉仕に頼っていますが、今後は区として取り組むべきと考えます。区のウェブサイトを活用して体系的に保存するのが良いと思います。

もう一つは、日本区が東西に分割される以前の資料類は東日本区で保管していますが、保存スペースが年々手狭になってきています。そのため、西日本区のクラブに関する資料類は西日本区に移管すべきと思ひ、東西理事連絡会議でその旨を申し入れさせて頂きました。

TC の総括



トラベルコーディネーター

加藤重雄(仙台青葉城)

TC としての大きな役目であり、**「BF 代表の受け入れ・世話等の調整」**は、残念ながら前期は来日が実現できず(3年越しのペルーからの BF 代表は最終的に来日を断念)、特に動きはありませんでした。WHO が新型コロナ「緊急事態宣言」終了を発表したこともあり、今年度こそは交流が実現できますことを願っています。私の住む東北にも是非ともご案内し、世界と東北を繋ぐ窓口として働ければと思います。

東日本区広報伝達専任委員として



東日本区広報伝達(PR)専任委員

山本俊一(甲府 21)

タイムリーな情報発信をする！と明言したにもかかわらず、その手法を精査していなかったために、情報がキチンと伝わっていなかった、と猛省しております。私が唯一行ってきたのは、東日本区のフェイスブックサイトでの情報発信を毎月行うことでした。これも清藤書記から頂いた理事通信を掲載するのがメインで、自ら取材したり、クラブからの情報を掲載したりということは、殆ど皆無でした。反省点は、広報伝達計画をキチンとたてて、メリハリのある

伝達とツールの選択が必要であった、ということです。イベント紹介、イベント報告を掲載することに終始していたような気がします。もっと積極的なマインドを広めていく努力をするべきだった、という反省しきりです。私個人においてはおかげさまで、ワイズメンズクラブの諸先輩方と知己を得ることが出来ましたことが大いなる果実です。6 月に行われた東日本区大会においてお声を掛けて下さった方々もいらっしました。本当に有難いことです。厚く御礼申し上げます

評価・反省・引継ぎ



東日本区ユース代表
川口夏菜子(宇都宮)

○評価: 東日本区大会内ユースアワー/2022.6.5 Youth Action 採択チームによる意見交換会の進行を担いました。チームごとに進めるにあつ

ての課題やそれに対する解決方法を見出していて、採択チーム同士が話し合うことで、今後の活動に幅を持たせることが出来ました。

① International Youth Convocation2022/2022.9.5

～9.9 東日本区・宇都宮クラブからの推薦で参加者として参加。各クラブから推薦されたユース一人ひとり普段とは違う環境に置かれることで、不安を負っていた部分が多いように感じられましたが、同時に乗り越えるための工夫を学んでいるように見受けられました。

② 第 34 回ユースボランティア・リーダーズフォーラム/2022.9.30～10.2 とちぎ YMCA スタッフとして、研修名目での参加。ユース事業委員会の皆さんを始め、ユースに関心のあるワイズメンの皆さまから、ユースクラブのお話を伺ったことで今後のユース事業についてどのように進めていくかを改めて考えるきっかけとなりました。

○反省: IYC 終了後に、ユースクラブ設立に向けて動いていましたが実現できませんでした。山梨 YMCA リーダー会の支援に力を入れたいと考えていましたが、そのための仲間集めが不十分でした。

○引継ぎ: とちぎ YMCA の OB/OG を中心とした Y3 宇都宮からは、代表が再構築を考えていると伺っています。

⇒7 月 23 日(日)追記・Y3 宇都宮活動状況について:
2023 年 7 月 9 日(日)とちぎ YMCA が指定管理を受ける宇都宮市青少年活動センターの主催事業「あそぼまつり」内にて、今後の活動資金集め・広報を目的に協同でブース出展を実施しました。今後も、とちぎ YMCAOB/OG を中心に声がけをし、ブース出展をすることで、会員増強に努め、ユースボランティアリーダー育成のための支援をしたいとお話されていました。

東日本区副書記として



副書記 山本俊一(甲府 21)

副書記として全く活動を行いませんでしたこと、忸怩たる思いです。

本来行わなくてはならない、役員会等の資料作成、議事録作成のお手伝いや、開催通知、出欠確認などの業務も、全て清藤書記に任せっぱなしでした。名前だけの副書記として 1 年間ご迷惑をおかけしたこと、誠に申し訳なくお詫び申し上げます。

東日本区副会計を引き受けて



副会計 山口 了(甲府 21)

2022-23 年度の区副会計として初めて区レベルの役職に就かせて頂きました。

私自身、3 年程前にワイズメンズクラブに入会したばかりの若輩者ですので右も左も分からないままのスタートとなりました。副会計の主たる業務は会計のサポートです。2022-23 年度の会計である荻野さんとは同じ職場という事もありまして、日々の細かい点や課題などは常に共有できたかと思います。その反面、東日本区事務所へ伺う事や決算の場に参加する事などがスケジュールの関係で出来ませんでした。その事が反省点として残ります。

その他の活動としましては常任役員会や東日本区役員会へオブザーバーとして参加を致しました。ワイズメンズクラブが抱える問題や東日本区の働きなどを学ぶ場所となりました。これは今後のクラブライフにも役に立ってくるものだと思っております。また、副会計の事からは少し離れま

すが、東日本区大会のホストクラブも務めさせて頂きました。ホストクラブになる事の大変さ感じ、貴重な経験をさせて頂きました。皆様にはご迷惑をおかけする事が多々あったかと思いますが一年間お世話になりました。ありがとうございました。

東日本区事務所報告



東日本区事務所長 小林 隆(沼津)

コロナ禍が沈静化しワイズ活動が復活した1年間でした。コロナの2年間は、東日本区役員会や東日本区大会のリアル開催はできませんでした。このため事務所の準備作業はなく、皮肉にも少し気楽なコロナ禍でした。しかし、佐藤理事年度は、東日本区役員会や会長・部役員研修会そして東日本区大会もリアルで開催されました。事務所も本来のワイズ活動に戻り、忙しくなり、嬉しい悲鳴を上げることになりました。これらも小山前事務所長に助けられ、何とか1年を終えました。ありがとうございました。

クラブの皆さんには、半年報の報告、区費や献金の請求、会員の異動報告等の手で「痒い所に手が届く」ような対応や改善はできませんでした。今後は、より良いクラブ対応や諸事務の改善に向けて努力してまいります。これからも宜しくお願いいたします。

YMCA 同盟の四谷事務所は、月・水・金の 10:30 から 17:00 まで開いています。お気軽にお立ち寄りください。部大会資料や会報などの冊子印刷を受け付けています。ネット印刷より若干リーズナブル価格で引き受けますのでご相談ください。(小林携帯 090-6769-2224)

2022-23 年度振り返り



東日本区担当主事 大澤篤人(茨城)

まずは、年次報告にも書かせていただいた、区担当主事としての反省及び課題を転記いたします。

・当初は必要な情報共有を的確に判断し迅速に対応することができなかった場面もありました。各クラブと担当主事や YMCA の関係性が、クラブ

によってさまざまであることから、パートナーシップ強化のための方法は画一的にはいかないこと、相互理解不足であることは課題と感じています。

・就任時ワイズメンではなかったことが最大の反省であり、今期ワイズメンとなったことが最大の収穫です。この他、全国的な広い視野でワイズ理解を深められたことも大変大きな収穫でした。この学びの1年を、ワイズとYMCAのパートナーシップ強化につなげていく必要性を感じています。今期は区大会がコロナ禍を経て4年ぶりの完全対面で開催されたことや、Y's SDGs Youth Action の初めての実施年度であったことなど、記録に残る年度だったと思います。個人的には初めて区担当主事の役割を仰せつかり、不勉強ながら関わらせていただいたこと、全国的な視野を持って様々な側面からワイズ運動を見つめることができたことで、大変有意義で記憶に残る年となりました。

以前はボランティアで、現在は有給職員としてYMCAに関わる身として、ワイズメンの驚くべき献身と尽力に、改めて頭の下がる想いでした。皆様のワイズスピリットに、心から感謝申し上げます。

2023-24 年度も、引き続き区担当主事を担わせていただきます。

若輩者ではございますが、皆様、今後ともよろしく願いいたします。

2023 年 7 月 1 日現在 現勢

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
2023-2024 年度《前期》現勢

2023.7.1現在

8.1

部 名 クラブ名	2021	2022	2022	2023	2023.7.1			直近 増減
	7.1	1.1	7.1	1.1	入会	退会	差引	
北海道部								
札幌	8	9	9	9	4	0	13	4
北見	11	11	10	10	0	0	10	0
十勝	18	18	18	18	0	1	17	△ 1
札幌北 (2023年7月合併)	8	8	8	8	0	8	0	-8
3	45	46	45	45	4	9	40	△ 5
北東部								
仙台	14	14	12	12	0	0	12	0
前橋	7	7	6	6	0	0	6	0
宇都宮	32	32	31	30	0	3	27	△ 3
仙台青葉城	13	13	13	15	0	0	15	0
*足利	3	3	3	3	0	0	3	0
会津 (2022年1月解散)	5	—	—	—	—	—	—	—
宇都宮東	7	7	7	6	0	0	6	0
那須	6	7	7	7	0	0	7	0
もりおか	14	14	14	14	3	1	16	2
仙台広瀬川	14	14	15	15	0	3	12	△ 3
石巻広域	20	22	21	20	0	1	19	△ 1
10	135	133	129	128	3	8	123	△ 5
関東東部								
東京江東	21	21	21	23	0	2	21	△ 2
千葉	11	11	11	11	2	3	10	△ 1
東京グリーン	16	15	15	14	2	1	15	1
埼玉	8	7	6	7	0	0	7	0
東京北 (2023年6月解散)	11	11	11	10	0	10	0	-10
所沢	11	11	15	15	1	1	15	0
東京ひがし	13	12	12	12	1	0	13	1
川越	10	10	9	9	0	0	9	0
茨城	9	9	7	7	1	0	8	1
東京ベイサイド	14	14	13	13	1	2	12	△ 1
千葉ウエスト	8	9	9	9	1	3	7	△ 2
10	132	130	129	130	9	22	117	△ 13
東新部								
東京	23	24	25	24	0	0	24	0
東京むかで	12	11	9	9	2	2	9	0
東京世田谷	14	14	14	13	1	1	13	0
東京町田コスモス	8	9	9	8	1	1	8	0
*東京センチナル	8	8	7	3	0	0	3	0
東京多摩スマイル (東京多摩みなみ)	10	10	11	12	5	0	17	5
東京町田スマイリング (2023年7月合併)	9	5	5	6	0	6	0	-6
6	84	81	80	75	9	10	74	△ 1

部 名 クラブ名	2021	2022	2022	2023	2023.7.1			直近 増減
	7.1	1.1	7.1	1.1	入会	退会	差引	
あずさ部								
甲府	30	30	30	28	0	6	22	△ 6
東京西	12	12	12	12	0	1	11	△ 1
東京武蔵野多摩	10	10	9	9	1	2	8	△ 1
*松本	10	11	11	11	0	0	11	0
東京サンライズ	18	18	17	17	1	3	15	△ 2
甲府21	48	51	53	50	4	13	41	△ 9
東京八王子	13	12	12	12	0	0	12	0
東京たんぼぼ	9	8	7	7	0	0	7	0
*富士五湖	11	11	11	12	0	0	12	0
*長野	10	8	8	8	0	1	7	△ 1
甲府やまなみ	—	—	—	11	1	0	12	1
11	171	171	170	177	7	26	158	△ 19
湘南・沖縄部								
横浜	12	12	12	12	1	1	12	0
鎌倉	9	11	11	11	0	1	10	△ 1
横浜とつか	12	11	11	11	0	0	11	0
厚木	12	11	10	12	3	2	13	1
金沢八景	11	11	11	12	0	0	12	0
横浜つづき	16	16	16	16	0	1	15	△ 1
横浜つるみ	10	11	12	12	0	0	12	0
7	82	83	83	86	4	5	85	△ 1
富士山部								
*熱海	43	43	41	41	0	3	38	△ 3
*沼津	15	15	15	14	0	2	12	△ 2
*伊東	18	17	11	11	1	0	12	1
*三島	8	8	8	8	0	1	7	△ 1
*下田	6	6	6	6	0	0	6	0
*熱海グロリー	15	15	13	12	2	0	14	2
御殿場	14	14	12	13	1	2	12	△ 1
富士	13	14	12	12	0	0	12	0
富士宮	19	18	16	16	0	0	16	0
9	151	150	134	133	4	8	129	△ 4

東日本区合計	2021	2022	2022	2023	2023.7.1			直近 増減	
	7.1	1.1	7.1	1.1	入会	退会	差引		
総クラブ数	59	58	58	59	クラブ数			56	△ 3
総会員数	800	794	770	774	40	88	726	△ 48	

* 印のクラブは、担当主事がないか、または在籍していても複数クラブ担当のため、当該クラブの人数には含めません。

☆札幌・札幌北：合併(存続：札幌)

☆東京多摩みなみ・東京町田スマイリング：合併して東京多摩スマイルに名称変更(存続：東京多摩みなみ)

2022-23 年度東日本区年次代議員会議事録

2022-23 年度 東日本区年次代議員会議事録

2023 年 6 月 3 日(土) 11:00~12:10

場所:APIO 甲府 タワー館

【開会式】司会 書記 清藤城宏
 開会点鐘 理事 佐藤重良
 ワイズソング・ワイズの信条 一同
 開会祈祷 次期書記 大和田浩二
 開会挨拶 理事 佐藤重良

【人数確認】54 名(出席 42 名、委任状 12 名)

【成立宣言】

定足数 48 名(代議員数 72 名(重複 1 名を除く、よって 72 名の 3 分の 2)に対し出席代議員 42 名、委任状 12 名計 54 名。定款第 6 条第 12 項に基づき佐藤理事は成立を宣言した。

【議事録署名人選出】

議事録署名人とし北東部大久保知宏部長、東新部深尾香子部長を書記が推薦し承認された。

【議長】定款第 6 条第 11 項に基づき選出されている長谷川あや子氏が議長を務めた。

【議案審議】

第 1 号議案 2022-2023 年度東日本区年次報告および行政監査報告承認の件

提案者佐藤理事から議案書、2022-2023 年度東日本区年次報告書の中から理事報告を中心に説明があった。田中行政監事からは行政監査報告書の説明があった。挙手による採決の結果、賛成多数により承認された。

第 2 号議案 2022-2023 年度東日本区中間決算報告および会計監査報告承認の件

提案者佐藤理事から議案書に基づき説明があった。小倉財政監事から会計監査報告の説明があった。挙手による採決の結果、賛成多数により承認された。

第 3 号議案 次年度の次期理事(2025 - 2026 年度理事)、次期行政監事(2023-2025 年度)承認の件

提案者大久保指名委員会委員長から次年度の次期理事(2025-2026 年度理事)は未定であること、行政監事(2023-2025 年度)として清水弘一氏(石巻広域)の指

名報告があった。

挙手による採決の結果、賛成多数により承認された。

第 4 号議案 第 28 回東日本区大会ホストクラブ承認の件

提案者佐藤理事から第 28 回東日本区大会のホストクラブを宇都宮クラブとする提案があった。

挙手による採決の結果、賛成多数により承認された。

第 5 号議案 2023-2024 年度東日本区理事方針承認の件

提案者山田次期理事から議案書に基づき説明があった。

挙手による採決の結果、賛成多数により承認された。

第 6 号議案 2023-2024 年度東日本区役員承認

提案者山田次期理事から議案書に基づき説明があった。これに対して以下の質疑応答があった。

山本代議員(川越):次期理事というのは定款上どのようになっているのか。

山田次期理事:次期理事は定款では次の理事ということになる。2 年続けるので次期理事は 2025-2026 年に理事を務める者と解釈している。

田中監事:現、次期、直前の 3 名による理事トロイカを構成し、区の運営を行っていく必要がある。すなわち 2025-2026 年に理事を務めるものがここで言う次期理事となる。2 年理事を務めるのは初めてのケースで定款等に規定があるわけではないが、トロイカ制度の精神、目的に叶う扱いである。

以上の質疑応答の後、挙手による採決の結果、賛成多数により承認された。

第 7 号議案 2023-2024 年度東日本区予算承認の件

提案者山田次期理事から差し替えのあった議案書に基づき説明があった。これに対し以下の質疑応答があった。

中村代議員(東京武蔵野多摩):ユースに力を入れるのはうれしい限りだ。経常会計からの 100 万円をユースのために使うのは大賛成である。収入の YVLF 等負担金各クラブ 2 万円は払うべきもの、これをもう一度確認したい。

荻野会計:5 月までに甲府やまなみ(新クラブ)を除いて全てのクラブから入金いただいた。

山本代議員(川越):ユース事業ファンドに経常会計か

ら移管するということが以前にこういう形で資金を持っていたがそれでは不明確。事業で何をやっているかわからないということで一度戻した経緯がある。ユースを支援したい理事方針は大賛成であるが、何年か経ってユース事業ファンドだけのお金だけが独り歩きし、使い方が不明確になるのではと危惧する。

山田:ユース事業は年度をまたいで行うもので毎年使い切るものでない。ユース事業ファンドのファンドレーシングも進めていきたい。ユース事業に関する収支が見えるようにする意味で特別ファンドを設けて、この中で管理していく。経常会計と同様、きちんと報告出来る形を作っていく。

鈴木次期会計(宇都宮東):直前区会計(2021-22年度)であった。昨年度も Y's×SDGs ユースアクションへの支援金として100万円支出したが、YMCAを通じて10の団体に明確に支出されていた。2年間にわたってお金を運用することになり、繰越金の無い年ある年があるので特別会計にした方が分かりやすであろうということのでこのような形にした。

田中監事:予算案の付属説明書にあるように、ユース事業ファンドについては、東日本区経理規定に基づいて収支予算をきっちりとさせ、透明性を確保し、また、予算執行についてはユース事業主任の判断で出金するのではなく、事業主任の要請によって東日本区決済権限に基づいて行い、さらに会計監査も受けることとするという提案であることを、両監事としても了解している。

以上の質疑応答の後、採決の結果賛成多数で承認された。

第 8 号議案 臨時代議員会実施の件

提案者佐藤理事から議案書に基づき説明があった、挙手による採決の結果、賛成多数により承認された。

【監事講評】

田中監事:コロナによって行動が制約されたにもかかわらず、各事業、各部が真摯に活動に取り組んでいただいた。今年度の年次報告では出来なかったことも書かれ、前に進む努力を多くの方がされたことを評価したい。出来なかったことをあと1か月の任期中に努力していただき、また、次期の方にどうして出来なかったのか、どうすれば良かったのかを引き継いでいただきたい。リアルでの会合や事業の開催ができるようになった今、各クラ

ブ、部は希望、夢を持ちその実現に取り組まれていくことを願っている。

行政報告では中長期計画を立てることを提案させていただいた。これからの東日本区、各クラブがこうあってほしいというビジョン、大きな明るい夢を描いて、さらにその実現に向けてのマイルストーンを練っていったきたい。行政監事として2年間の務めを終えようとしているが、これまでの皆さんのご協力に感謝申し上げます。

小倉監事:財務に関しても皆様のご協力に感謝する。中間決算もさせていただいた。本決算もしっかりとさせていただく。田中行政監事の方から行政監事報告の付帯意見の中で、熱い思いが書かれている。熟読いただいて、次年度の活動に取り組んでいただきたい。

【閉会式】

YMCA の歌 一同

閉会挨拶 次期理事 山田公平

閉会点鐘 理事 佐藤重良

上記の議事の内容を明確にするため、この議事録を作成する。

東日本区理事 佐藤重良

東日本区代議員会議長 長谷川あや子

議事録署名人 大久保知宏

同上 深尾香子

2022-23 年度東日本区役員会議事録

第 1 回東日本区役員会議事録

【日時】 2022年7月9日(土) 19:00~21:14

【開催場所】 Zoom によるオンライン会議

【出席者】

[常任役員] 4名/5名

佐藤理事、大久保直前理事、清藤書記、荻野会計

欠席(山田次期理事は、欠席)

[事業主任] 4名/4名

小山久恵(地域奉仕・Y サ事業主任)、佐藤節子(会

員増強事業主任)、利根川太郎(国際・交流事業主任)、衣笠輝夫(ユース事業主任)

[部長] 6名/7名

小谷和雄(北海道部部长)、**重複**大久保知宏(北東部部長)、工藤大丈(関東東部部長)、深尾香子(東新部部長)、後藤明久(あずさ部部長)、小松仲史(湘南・沖縄部部長)

欠席(前原末子 富士山部部長は、欠席)

<オブザーバー> 13名

[監事]田中博之(行政監事)、小倉恵一(財政監事)
[委員会など]駒田勝彦(文献・組織検討委員会委員長)、山下真(LT 委員会委員長)、高田一彦(JEF 運営委員会委員長)、松村仁子(ワイズメネット委員会委員長)、**重複**大久保知宏(法人推進委員会委員長、栗本治郎(Change! 2022 推進委員会委員長)、仙洞田安宏(ヒストリアン)、**重複**大久保知宏(IT アドバイザー)、加藤重雄(トラベルコーディネーター)、山本俊一(広報・伝達(PR)専任委員/副書記)、山口了(副会計)、小林隆(東日本区事務所長)、大澤篤人(東日本区担当主事)

【開会挨拶】(佐藤理事)

あつてはならない事件や、戦争が起きている中、コロナも第7波に至ろうとしている。こんな時こそ、「苦難をチャンスに変え奉仕活動をする必要があると思う。世の中で私たちを必要とする人たちのために、年度初めに定めた目標を達成するために、努力しよう。

【自己紹介】

今期初の役員会であり、出席者全員が自己紹介を行った。

【議事進行上の注意点】(清藤書記)

- 議決権を持っている者は、「○議決権者」を名前の前に付け加えること
- 議決に際しては、「リアクションボタン」のなかにある「手を挙げる」ボタンを押すこと
- 発言に際しては、「所属、名前」を述べてから議長に了解を得ること

【出席者確認】

議決権者の出席確認を行った。

- 議決権者(東日本区役員)15名のうち、山田次期理事、前原富士山部部長の2名が欠席
- (東日本区役員の定数は、常任役員5名、事業主任4名、部長7名の合計16名であるが、議決権者は、重複(大久保直前理事は北東部部長を兼務)を除き15名。なお、議長である理事は、賛否同数の場合を除いて、採決に加わらない)
- オブザーバーは、13名出席
- 合計26名の出席。(うち議決権者13名)

- 佐藤理事による成立宣言。定足数10名(15名の2/3以上)に対し、13名の出席により、東日本区役員会の成立が宣言された。

【議事録署名人選出】

大久保直前理事と小山事業主任を指名し、異論なく承認された。

年間議事録署名人とし山田次期理事および大久保直前理事を選出したが、今回、山田次期理事が欠席のため今回のみの議事録署名人として議決権者の中から、山田次期理事の代わりとして小山事業主任が指名された。

【議案審議】

佐藤理事が議長となり議案審議が行われた。

第1号議案 第25回東日本区大会決算報告の件

提案者 大久保直前理事

議長より指名を受け大久保直前理事から議案についての説明が行われた。

1. 収入、支出内容の報告

2. 監査を受け適正であると認められたこと

- 議長が、質問がないか確認の後、挙手による採決を行った。
- 全員の賛成により、承認された。

第2号議案 第26回東日本区大会登録費について

提案者 佐藤理事

● 予定されているホテルからの正式見積もりが取れないため(経営方針の変更、コストの変動ならびに1年先のコロナの状況が不明)、佐藤理事から、今回、この議案は取り消し、11月の第2回東日本区役員会で改めて提案したい旨の発言があり、了承された。

第3号議案 東日本区主催の会合での礼拝献金の贈呈先の件

提案者 佐藤理事

東日本区主催の会合での礼拝献金の贈呈先は、東日本区大震災被災者復興支援活動に寄附することとした。

- 議長が、質問が無いか確認の後、挙手による採決を行った。全員の賛成により、承認された。

【「戦略2032」についての説明】

田中行政監事(元アジア太平洋地域会長)から、パワーポイントに基づき、5月に発表された、国際協会の中長期計画である「戦略2032」についての説明が行われ、良く理解した上で、東日本区、各部、各クラブの今年度の施策に反映し、また、各部長は、各部の評議会でも説明を行って欲しい旨の要請が行われた。

(追記)使用したパワーポイントは東日本区役員会終了後、

東日本区役員会メンバーに送付済み。また、録画も送付される予定)

【活動方針の発表】

各出席者から、活動計画の報告が、ワークブックに基づいて行われた。ワークブックに掲載されていない事項についてのみ、以下のとおり記載する。

<佐藤理事>

- ピンチをチャンスとして捉えたい。
- ユース活動を活性化し支援する必要があると考えております。
- 将来の YMCA・ワイズメンズクラブのために ユース(OG・OB)と例会・イベント等で接点を多くし、ワイズメンクラブの活動を理解していただくことが 将来のために必要である。
- JEF 委員長は、委員の互選により高田一彦さんが務めることとなった。
- Change! 2022 は、この 12 月で終了するが、会員増強は、永遠のテーマであり、なんらかの形で取り組みを継続して行きたい。
- 活性化のために各部、各クラブのお知らせ事項を「理事通信」を掲示板にして、利用願う。

<大久保直前理事>

- 佐藤理事と共に、主題で求める区の事業のスピードをつける役割を果たしたい。
- 法人推進委員長として、法人として取り組む社会課題と、その解決に向けた事業の実施を進める。

<小山地域奉仕・Yサ事業主任>

- CS・Yサ事業でもトロイカ体制を進めている。

<佐藤会員増強事業主任>

- 目標を高く据え、達成を目指す。「入会候補者リスト」を作成する。

<利根川国際・交流事業主任>

- 献金・最新の情報を各クラブへどうやって伝えていくかが課題。各事業主査の力、次期の事業主任とも知恵を出しあって進めたい。

<衣笠ユース事業主任>

- 今年度はワイズと YMCA のパートナーシップの協働を深める。
- 9月5日～9月9日に国際ユースコンボケーションがタイ・チェンマイで開催される。参加者の募集を行う。
- ユース OB へ「ホームカミング運動」を行い、繋がりを切らさない。
- 次期ユース事業主任を交えて、トロイカ体制を進める。

<小谷北海道部部長>

- 7月16日チミケップ湖でのカヌー上げ下ろし栈橋の補修を行う。
- ニュースレターを毎月1日に発行したい。北海道部の各クラブの情報を掲載。発行月次の情報と次月の2ヶ月分の情報を集めてプリントして配布している。来月は8月、9月の情報を共有していく。
- 8月27日 北海道部大会:北海道 YMCA 会場対面&Zoom のハイブリッドで開催予定。

<大久保北東部部長>

- 新設委員会:部交流委員会、部ユースアクション委員会、部ファンド委員会

<工藤関東東部部長>

- テクノロジー活用による効率化。ボランティアの実践に注力する。
- 関東東部大会は、開催日を10月1日に変更。

<深尾東新部部長>

- 1クラブでは難しいことも、他クラブの協力、部の支援で行っていききたい。
- メンバーの平均年齢が最も高い部であることを意識して、これをメリットとして生かしたい。
- ワイズメネットとワイズウィメンの垣根を取り払って、交流会を立ち上げる。
- メンバーのプロボノを共有したい。
- 新しい IT ツールを使い切れない人の知識向上を図っていききたい。
- 東新部大会では、ユースアクションの選考から漏れたチームを招待し、発表してもらう。

<後藤あずさ部部長>

- 前年度の評議会からリアルの会合が増えて来たのでこれを進めたい。
- 私の所属する富士五湖クラブ自体イベントが多いので、みんなに参加してもらい、こちらからも(他クラブの)イベントに参加していきたい。
- あずさ部大会は、富士五湖クラブ 20周年も兼ねている。

<小松湘南・沖縄部部長>

- 「ワイズって楽しそうだから入れてくれませんか」といわれるようにしたい。
- 活発に動いている他の団体には「青年部」がある。若い人を入れるには若い人の意見を聞いた方がいい。「青年部」が出来ないか。
- 7月23日、第1回評議会、10月22日、湘南・沖縄部大会を開催する予定。

<駒田文献組織検討委員長>

- マニュアル手引きの見直しを検討していきたい。
- 10 年先をにらんで、組織の見直しを検討していきたい。

<山下 LT 委員長>

- 各種手引き・マニュアル改訂は、文献組織委員会と連携して行っていきたい。
- 次期部長・事業主任研修会は 10 月 29 日(土)にオンラインで開催する。

<高田 JEF 委員長>

- 原さんから委員長を引き継いだ。JEF の理解を高め、献金を募っていく。

<松村ワイズメネット委員長>

- ワイズメネット委員は 10 名。まずは、各ワイズメネット会等の実情を把握したい。東新部のワイズメネットとワイズウィメンの交流は興味深い。

<大久保法人推進委員長>

- 法人化したメリットの具体化の実現を推進したい。

<栗本 Change! 2022 委員長>

- Change! 2022 ラストスパート 180 日。ワイズ紹介サイトのカードを送付しているのでご利用を。動画サイトの活用を推進、利用して欲しい。YMCA 機関誌へのワイズコーナー掲載依頼。ワイズを YMCA の方々から見ても身近なものにする。YMCA にワイズのポスターを貼る。
- 「戦略 2032」の解説にもあったが、私たちのクラブの「親睦」がなくては、ワイズ運動は継続されていかないと感じている。
- 佐藤会員増強事業主任から「入会候補者リストアップ」という提案があったが、例会、役員会の中で、リストアップして戦略的に動いて頂きたい。

<仙洞田ヒストリアン>

- 日常の東日本区の記録をとり、保存していくことを 1 年間務めたい。

<大久保 IT アドバイザー>

- YMCA 機関誌へワイズの記事を載せることは、ウェブサイトや QR コードとの連携を行っていきたい。

<加藤トラベルコーディネーター>

- トラベルコーディネーターの業務は、BF 代表の受け入れである。ペルーからロザンナさん夫婦が来日予定。10 月 30 日、成田到着。東日本区には 1 週間程度滞在するが、旅程を調整中。11 月 14 日に西日本区から台湾に発つ。

<山本広報・伝達(PR)専任委員>

- スローガン、「りじつうしん おたよりだけが たよりです」

<小林東日本区事務所長>

- 2020 年から東日本区事務所長を務めている。東日本区事務所はワイズ活動を支えている部署だと理解している。部長、事業主任その他、わからないことがあれば、気軽に電話・メールで問い合わせ願う。

<大澤担当主事>

- ウクライナ避難者支援の現状
 - YMCA 同盟が支援した避難者:6 月半ば時点で、57 組 130 名
 - 日本全体では、1,300 名を超える。
 - YMCA 同盟としては「生活支援」として、毎週日曜日 YMCA 同盟・四ッ谷事務所の隣の建物で「日曜学校」を開催、月に 1 回「ウクライナカフェ」を開催し、日本で生活するにあたって、言葉、仕事、自分たちで生活するための支援をおこなっている。
 - YMCA 同盟ではウクライナの担当専従職員もいる。
 - 向き合う、寄り添う姿勢で動く。
 - 募金への継続協力を、宜しく願いたい。

【その他】

- 11 月 15 日～17 日、台湾・台北で開催予定のワイズメンズクラブ国際協会 100 周年祝賀会関連
 - 現在は台湾では観光客の受け入れはしていない。コロナ前はビザが不要だったが今はビザが必要。台湾から招聘状があっても、入国時 3 日の隔離に加えて、4 日間の自主隔離が要請されている。旅行会社としても、まだグループツアーの案内が出来る状況にはない。(加藤)
 - ウェブサイトでの登録受け付けは開始している。8 月末までの早割登録費は 420 ドル。台湾の仲間を元気づけるために、また、仙台でのアジア太平洋地域大会には、台湾から 100 名を超える参加があったことに応える意味でも、早めの登録をお奨めしたい。しかし、飛行機のチケットをとるのは、現状では慎重にならざるを得ない。(田中)
 - 大会がコロナによりキャンセルや国外からは Zoom 参加になった場合の登録費の返還について大会ホストコミッティーに確認する。(田中)
 - 大会登録は、英語での登録であり、必要あればサポートする。(田中)

【監事講評】

<田中行政監事>

- 役員就任式の式辞で述べられている 4 つの「I (アイ)」のトップは理想主義者(Idealism)であり、これがリーダーとして、役員であるみなさんに求められている一番大切な資質である。様々な課題や困難の中でも、希望を持ち、笑顔で組織を引っ張って欲しい。
- 深尾東新部部長が述べたように、「高齢化」をマイナスと捉えるだけではなく、プラス側面もあることにも着目していただきたい。
- 活動に際しては、昨年度の前例だけを参考にするのではなく、まずは区定款、細則、各種マニュアル、手引き等を参照し、その上で、過去複数年の前例を参考にしていきたい。昨年度だけを参考にすると、昨年度に漏れや間違いがあった場合、それを踏襲してしまうことになる。その上で、場合によっては、前例を改めたり、乗り越えたりする取り組みも検討いただきたい。

＜小倉財政監事＞

しばらく区の活動から遠ざかっていたが、皆さんの熱い思いに接して嬉しく思う。今年度の予算はまだ精査していないが、実のある活動を行い、有効に予算を使い切って欲しい。

【今後のスケジュール等】(清藤書記)

- 明日、7月10日に「理事就任・引継ぎ式」のビデオ収録が山梨 YMCA で行われる。
- 8月26日に昨年度決算承認の「臨時代議員会が Zoom で行われ、それに先立ち、臨時東日本区役員会(メール)で臨時代議員会の議案の承認を求める予定。
- 第2回東日本区役員会は、11月5日に開催予定です。

【閉会】(大久保知宏直前理事)

第1回東日本区役員会の開催お疲れさまです。各委員会は、それぞれ Zoom で開催されると思います。委員長の皆さんは、役員会メンバーのメンバーリストにその開催案内を流してください。役員会メンバーは、それぞれの委員会に積極的にオブザーバーとして参加をして、情報の共有をしていただきたい。お疲れでした。第1回東日本区役員会頼もしい。部長、事業主任は、各事業委員会に積極的にオブザーブ参加をしていただきたい。

上記の議事の内容を明確にするため、この議事録を作成する。

議長(理事) 佐藤重良

直前理事 大久保知宏

地域奉仕・Yサ事業主任 小山久恵

第2回東日本区役員会議事録

【日時】2022年11月5日(土) 13時～17時

【場所】: 日本 YMCA 同盟会館2階(Zoom 中継あり)

【出席者】

出席義務者:

＜常任役員＞佐藤重良理事、大久保知宏直前理事、山田公平次期理事、清藤城宏書記、荻野清会計(5)

＜事業主任＞ 小山久恵 CS・Y サ事業主任、佐藤節子会員増強事業主任、利根川太郎国際・交流事業主任、衣笠輝夫ユース事業主任(4)

＜部長＞小谷和雄北海道部部長、大久保知宏北東部部長(重複)、深尾香子東新部部長、後藤明久あずさ部部長、小松仲史湘南沖縄部部長(5)以上議決権者計 13 名

欠席 工藤大丈関東東部部長、前原末子富士山部部長 2 名

＜監事＞田中博之行政監事(1)

理事からの出席要請者: 駒田勝彦文献・組織委員長、

山下真 LT 委員長、高田一彦 JEF 委員、

栗本治郎 Change! 2022 委員長、加藤重雄トラベルコーディネーター、

大澤篤人日本 YMCA 同盟担当主事、

松村仁子ワイズメネット委員長、小林隆区事務所長、仙洞

田安宏ヒストリアン、山本俊一副書記、山口了会計、利根

川恵子国際議員、板村東西交流実行委員、大和田浩二

次期書記、水越正高副書記補 (15)

合計 29 名(内対面出席 13 名)

司会/記録: 清藤城宏

【開会挨拶】佐藤東日本区理事

リアルでの開催は久しぶり、コミュニケーションの質を高めるためにはリアルが重要だと感じる。

各種事業主査の皆様も含めご協力をお願いします。

【自己紹介】出席者全員の自己紹介を行い開会となった。

【定足数確認】議決権者 13 名/15 名、東日本区定款8条4項に基づき役員会の成立を宣言。

議事録署名人: 役員会の議事録署名人は大久保直前理事と山田次期理事が年間議事録署名人。

【議案審議】佐藤理事が議長となり議案審議が行われた。

第1号議案 臨時役員会議事録承認の件

提案者 佐藤理事

▶説明の後、以下の論議を踏まえて訂正し、賛成多数で承認。

高田: 第3号議案内の JEF について、議論の内容を踏まえ JEF を JEF 等と追記してほしい。

▶JEF→JEF 等に訂正

仙洞田: 出席者の氏名についてすべてフルネームにて統一してはどうか? ▶フルネームに訂正

利根川: 誤字の訂正と期間の訂正を依頼

▶1p 毀損会員→既存会員 2 年度→1 年度

第2号議案 2023-2024 年度東日本区役員承認に関する件

提案者 山田公平次期理事

山田公平次期理事が次期メンバーの内容を説明。

これに対し次の質疑応答がおこなわれ、賛成多数で承認可決。

第3号議案 2022-2023 年度東日本区大会実施に関する件

提案者 佐藤理事

佐藤理事より 2022-2023 年度東日本区大会実施に関する内容を説明、これに対し次の質疑応答がおこなわれ、賛成多数で承認可決。

田中: ユース・コメットの定義をしっかりと定める方がよい。

▶上限 35 歳下限 18 歳メンバーは除く(ユースとする) 18 歳未満は 5,000 円コ。メットという記載は削除することとする。

仙洞田: 時限的な参加費の減額については生きているか?

▶大会ごとの規定。今回は無いものとして検討している。

栗本: 1 日目には役員会もあるか?

佐藤: ある。提案内容に全内容は記載されていないが予定されております。

田中: プログラムの前夜祭は前日として記載してはどうか? ▶提案の通りに訂正いたします。

深尾: 提案内容についてプログラム内容は記載されている内容以外のものがあるか。

田中: 今後正式に決定されます。

板村: 減額の解釈について 2019 年度の際に時限立法を引き継いだ、その後は引き継がれていない。3 年間の時限措置がハンドブックに記載されている。

田中: 行政監事の見解だと、この 3 年間で本大会は該当しない。

第4号議案 新クラブ設立助成金制度の継続に関する件

提案者 佐藤理事

新クラブ設立助成金制度の継続に関する内容を説明、賛成多数で承認可決。

第5号議案 東西交流会開催支援金に関する件

提案者 佐藤理事

東西交流会開催支援金に関する内容を説明。これに対し次の質疑応答がおこなわれ、賛成多数で承認可決。

高田: JEF 委員長として当初の JEF の考え方からは少し外れている。赤字補填にとは如何なものかと個人的には考える。

栗本: 交流会の案内が来ない

板村: 案内書を作成中、11 月に申し込みが開始予定。

【東日本区活動報告等】ワークブック参照

1 東日本区現況 佐藤理事

7 月からの各活動の報告、会員増強については東日本区として中間発表を実施。

チーム編成 > リストアップ > 入会促進 選択と集中にて会員を獲得する戦略、現状の実績も併せて説明。現実績としては 17 名、2 年前の数字に戻して、山田年度に引き継ぎたい。

その他の項目については各事業主査・委員長の発表と被る為、省略する。

2 国際・アジア太平洋地域 利根川国際議員

2000 人近く、国際単位では会員が増えており 100 周年事業に伴う成果が出ている。

今年度のチャータークラブには甲府やまなみクラブも含まれている。京都では、京都ブラッククラブが創設された。各種国際議会や動向・国際表彰などについて発表。今後については、国際憲法の改定の延期に

始まり、事業・マニュアルの見直しが行われていることが報告された。

3 次期理事方針 山田次期理事

主題について説明。将来の社会がどうなっていくか、そこに若者たちが何に取り組んでいくのが重要である。その若者たちを育てることに注力するという思いが込められている。YMCA だけでなく、ワイズがどのように力になれるのかを考えていきたい。そのために 4 つの目標を掲げた。

ユース×SDGsの推進、既存プログラムの活用、クラブライフの充実、委員会・タスクチームを組織し行動を継続していくことに注力していこうと発表、事務局機能の拡充についても検討を始めより効果的な運営を実施していく決意を表明した。

4 地域奉仕・Yサ事業 小山事業主任

トロイカ体制が順調です。各種のイベントを実施、報告内容は記載のとおり。

5 会員増強事業 佐藤事業主任

すでに A チーム・B チームの作業は完了、C チームの作業を開始している。理事の熱き思いにこたえて行動を実施していきたい。

6 国際・交流事業 利根川事業主任

BF 献金、切手収集のコスト問題について検討を実施、東日本区では継続を決定

東西日本区の交流会について会議を実施中。アンケートの回答率が少ない現状である、各主査に呼びかけて回答率を上昇させる予定。今後の活動方針については記載のとおり。

7 ユース事業 衣笠事業主任

理事・時期理事の思いを具体化していく大事な時期であると認識している。リーダーズフォーラム(YVLF)の今年のポイントは YMCA のスタッフが多く参加してくれ、IYC にも YMCA のユーススタッフが多く参加してくれて非常に良かった。

オープンフォーラムYの開催が予定されている。内容としてはユースアクション 2022 のフォロー及び支援を考えている。

佐藤:東日本区大会にてユースの発表の時間を作ってみるのはどうでしょうか?

衣笠:考えとしては非常にいいと思う。IYC 参加者のユースにはユースクラブを1つ作ろうと話をしている。ワイズメンのサポートをお願いしたい。

【各部活動報告】ワークブック参照

1 北海道部 小谷部長

毎月1日に情報を集めて、2ページのニュースレターを発行。非常にうまくいっている。部の情報・各クラブの情報を載せることで何をやっているのか、わかるようになった。

2 北東部 大久保部長

12月に部大会を予定している。部長訪問を11月には再開予定。会津クラブが実施していたことを北東部にて引継ぎし支援継続していく。

3 関東東部 工藤部長

欠席によりワークブックにて確認

4 東新部 深尾部長

それぞれのクラブの活性のために、月1回の会長会にて合同例会の開催の打ち合わせを実施している。そのアクションが今年度通して実施していくことになる。

5 あずさ部 後藤部長

新しいクラブのチャーターナイトの開催報告。あずさ部会の報告、部会がキッカケで新規会員が増えることが良い事例であったと報告

6 湘南・沖縄部 小松部長

7月から部長訪問を順次実施、10月には部会を実施。講師に富田俊彦氏を迎え「テロに学ぶ命の尊さ」をテーマにあさま山荘事件・オーム事件などを話された。

7 富士山部 前原部長

欠席により、資料にて報告を確認

【委員会・専任委員等報告】ワークブック参照

1 文献・組織検討委員会 駒田委員長

マニュアル・手引きは使用されなければ意味をなさない。原点に戻り、検討を重ねている。

様々な検討事項や次年度への取り組みについて、LT委員長とともに意見交換をした。

2 LT委員会 山下委員長

12月初旬に次期部長・次期主任研修を予定している。区大会のリアル開催に伴いフレッシュワイズセミナーの開催も提案していきたい。

3 JEF運営委員会 高田委員長

今年度も、厳しい環境の中で、ワイズ基金への献金感

- 謝。東日本区ワイズ基金のパンフレットを参照頂き各クラブへのPRをお願いする。ワイズ基金への献金は10月30日現在期首 13,408,476円。
- 4 ワイズメネット委員会 松村委員長
メネットの実情調査(Googleフォームを用いたアンケート調査)を実施中。アンケートの回答率が低い、各種委員の皆様に声掛けと実施をお願いしたい。
- 5 Change ! 2022推進委員会 栗本委員長
Change ! 2022の活動も残り少し。様々な行動を実施してきたが、難しいことも多い。その中で甲府やまなみクラブが9月3日にチャーターナイトを迎えたことは、大きな喜びであり、エクステンションの成功例を目にすることが出来た。
- 6 法人化促進委員会 大久保委員長
ワーキングチームで活動を実施中。動画作成・補助金申請サポート、マニュアル、ユース向け新事業構築などを進めている。
- 7 東西交流会プログラム委員長 板村委員長
多くのの方の東日本区の会員の参加を期待している。お手伝いも募集している。11月に申し込みスタート予定。交流会参加者確保(目標200名)となっている。
- 8 ヒストリアン 仙洞田委員
東西交流会に使用する資料にて苦慮する場面あり。当該項目について、お力を借してほしい。
- 9 ITアドバイザー 大久保委員
ページ閲覧数が全体的には伸び悩む(各ページの閲覧数を説明)。会員外向けのページのリニューアルも含め、年内のリリースを目指している。メーリングリストの運営、ZOOM会議の運営を実施している。
- 10 トラベルコーディネーター 加藤委員
BF 代表の航空機の問題にて全便が運休。来日が延期した状況。条件が整ったら近日中に、台湾訪問の企画を発表したいと考えている。
- 11 広報・伝達(PR)専任委員 山本委員
記載の通り。
- 12 YMCA関連 大澤担当主事
ウクライナ支援については、引き続き実施している。700名以上には協力をいただいた。ウクライナ支援募金(3/3~4/30・5/1~8/31)合計31,399,775円。7月に実施された世界YMCA大会について参加の報告、先

日開催されたYMCAリーダー研修についても詳細に報告。

- 13 東日本区事務所長 小林東京事務所長
前期区費の収納が完了したことを報告。会員の減少により 5,499,400円(58クラブ 770人) 前年比 -224,500円という状況である。国際会費については、円安の影響を受けている状況である。
振込口座の報告が少ない状況なので、各部長に依頼をし、早めの解決を進める。

【監事の講評】

田中行政監事: 久しぶりのリアル開催でうれしく思う。ハイブリッドの開催も非常に良かった、監事としてはコンプライアンス上、問題がないかをしっかりみることと認識している。
今回の会議も報告を聞くだけでなく、みんなでディスカッションするのもよかったのではないかと。時間割も考えてみると良い。レポートをみると様々な活動内容が見えるが、新しい課題を共有し解決策を探すのも役員会の目的の1つである。そのような時間が増えると良い。キーワードは親睦、国際協会もモデルプランを用意している。各研修会を良いものとするために検討している。そのためには「より楽しいものにする」。皆さんが率先して楽しんでいただくことが重要で、そうしてクラブ活動を活性化して欲しい。

【閉会挨拶】山田公平次期理事

久しぶりに会えて話し合いが出来て良かった。話し合いの時間が少しでも増えると良い。これから対面で話し合う機会を増やしていこう。

【閉会終了】17:00

上記の議事の内容を明確にするため、この議事録を作成する。

議長(理事) 佐藤重良
次期理事 山田公平
直前理事 大久保知宏

第3回東日本区役員会議事録

【日時】2023年4月8日(土)14時~9日(日) 11時15分

【場所】:山梨 YMCA 会館 大澤英二記念ホール(ベテル)

【出席者】

東日本区役員(出席義務者):

<常任役員>佐藤重良理事、山田公平次期理事、大久保知宏直前理事、清藤城宏書記、荻野清会計(5)

<事業主任> 小山久恵 CS・Y サ事業主任、佐藤節子 会員増強事業主任、利根川太郎国際・交流事業主任、衣笠輝夫ユース事業主任(4)

<部長>大久保知宏北東部部長(重複)、工藤大丈関東東部部長、深尾香子東新部部長、小松仲史湘南・沖縄部部長、前原末子富士山部部長(5)以上議決権者計 13 名

【欠席】小谷和雄北海道部部長、後藤明久あずさ部部長(2)

次期東日本区役員会メンバー:

大和田浩二次期書記、鈴木伊知郎次期会計、廣田光司次期地域奉仕・Y サ事業主任、進藤重光次期会員増強事業主任、板村哲也次期国際・交流事業主任、長尾昌男次期関東東部部長、森本俊子次期あずさ部部長、榎本博次期富士山部部長、渋谷実季次期ワイズメネット委員会委員長(9)

監事:田中博之行政監事、小倉恵一財政監事(2)

理事からの出席要請者:

駒田勝彦文献・組織検討委員長、山下真 LT 委員長、高田一彦 JEF 委員長、栗本治郎元 Change! 2022 委員長、大澤篤人東日本区担当主事、松村仁子ワイズメネット委員長、仙洞田安宏ヒストリアン、利根川恵子国際議員、小林隆東日本区事務所長、山口了副会計(10)

合計 34 名(内 8 日のみ出席者 6 名)

司会/記録:清藤城宏

4 月 8 日(土)(14:00 開会)

【開会点鐘】佐藤東日本区理事

【開会祈祷】清藤東日本区書記

【ワイズソング・ワイズの信条】一同

【開会挨拶】佐藤東日本区理事

【定足数確認】議決権者 13 名/15 名、東日本区定款 8 条 4 項に基づき東日本区役員会の成立を宣言

【議事録署名人】山田次期理事、大久保直前理事(年間議事録署名人)

【議案審議】佐藤理事が議長となり議案審議が行われた。

第1号議案 第 2 回東日本区役員会議事録承認の件

提案者 佐藤理事(資料参照)

清藤書記から字句の訂正あり。3p JEF 委員→JEF 委員長、5p 7 ユース事業 時期理事→次期理事、6p 3JEF 運営委員会 抜け:今期 220,000 円、10 月 30 日現在 13,638,476 円、6p 6 法人化促進委員会→法人推進委員会、7 多くのの→多くの、7p 12YMCA 関連 700 名以上に方は協力いただいた→700 名以上の方を支援した。以上を訂正して賛成多数で承認可決した。

第 2 号議案 2023-2024 年度東日本区理事方針承認の件

提案者 山田次期理事(資料参照)(第 21 回ワイズ・パートナーシップ検討委員会報告配布)

山田次期理事が内容を説明。これに対し質疑応答、修正の提案がおこなわれ、修正が行われることを前提として、賛成多数で承認可決した。

(主な質疑応答)

- 東日本区行事予定表の強調月間は、国際協会の予定と合っているか。8 月の「戦略 2032」に合わせて、何らかの行事は予定されていないのか。(大久保)←今年度の国際協会の強調月間をベースにしている。ユースアクションも「戦略 2032」のひとつと捉えているが、さらに具体的に今後検討していく。

- スローガンが「ユースアクションをワイズの主要な活動に」ということであるが、これは、他の事業は主要な活動ではないということか。また、ユースアクションは、ユースの活動であり、ワイズはそれを支援する立場である(板村)。

←ユースアクションは、ユースのエンパワーメントが出来る活動同になっている。これからもワイズと YMCA が合同で本気になって取り組むべき課題であり、主要な活動にしていきたい。

- 主題の「未来のために今、学びと気づきを、」の「、」を「！」にし、最後にも「！」を付けてはどうか?また、「未来のために、自信と喜びを感じる機会を」の「自信を感じる」は、不自然である。スローガンは「ユースアクションをワイズの主要な活動に」を「ユースアクションを主要な活動のひとつに」にすると受け入れ易い。(利根川恵子)

- 6 月の強調月間テーマに「評価」が漏れているのではないか(長尾) ←確認する。

第 3 号議案 2023-2024 年度東日本区予算案承認の件

提案者 山田次期理事(資料参照)

山田次期理事が予算案の内容を説明した。なお、ユースアクションについては現時点では経常予算に計上しておらず、今後、寄付金等での収入を検討していく旨の補足があった。これに対し、以下の問題が提起され、採決の結果、継続審議となり、臨時役員会を開催し、修正案の提出を求めることとなった。ユース活動関連の収入と支出が合っていない。ユースのための献金がそれ以外に使われてしまう予算になっている。(衣笠)(田中)(利根川恵子)

なお、採決後、田中行政監事から、今年度、YVLF 支援金が未払いのクラブが多数あって、憂慮すべき状況である。これは自由献金ではなく、各部からの納入が必須のものであるという認識を新たに、各部長の対応を求める旨の発言があった。

第 4 号議案 2023-2024 年度東日本区役員承認の件

提案者 山田次期理事(資料参照)

山田次期理事が役員案を説明。これに対し、賛成多数で承認可決した。

第 5 号議案 Change!2022 会計決算承認の件

提案者 佐藤節子会員増強事業主任(資料参照)

栗本元 Change! 2022 委員長が決算報告を説明、小倉財政監事から監査報告が行われた。

これに対し、賛成多数で承認可決した。

第 6 号議案 CS・Y サ・ASF 資金運用規定承認の件

提案者 小山地域奉仕・Y サ事業主任(資料参照)

小山事業主任が提案書を説明し、賛成多数で承認可決した。

【理事報告、国際・アジア太平洋地域報告、各事業主任報告、各部長報告】

資料に基づき(一部スライド)各々、報告が行われた。

〈質問、意見、感想〉

- ・ 「身障者」は、「障がい者」という表記に YMCA でもワイズでも統一している。(高田)
- ・ 国際協会 CS 事業表彰がある。是非部長さんからもクラブに応募を奨めてもらいたい。6 月 15 日締め切り。(田中)
- ・ 富士山部においてもごみ拾い事業を手掛けているクラブもあるので是非オープンフォーラム Y を聴いて欲しい。(衣笠)

- ・ 下田クラブの事業は石巻広域もやっているの、繋がりを持って行うことで広がるかもしれない。(深尾)
- ・ アジア太平洋地域大会チラシの「グリーンレヴィ」について知りたい(大久保)。

←アジア太平洋地域環境基金を設置している。地域大会費に 10 ドル上乗せしてそれを基金に充てている。今回、レヴィを集めるのは初めてで、どのように使われるかは、まだ決まっていない。なお、これまでフィリピン・マカティ YMCA のソーラーパネル設置支援に支出。電気代が 25%カットされ、毎年 US\$ 2,500 をアジア太平洋地域に返すことになっており、すでに US\$ 11,000 が返ってきている。日本から環境事業に手をあげること可能。(利根川恵子)

閉会 5 時

その後、次期東日本区役員会および指名委員会が各々別室にて開催され、6時から 7 時 30 分まで山梨 YMCA 大澤英二記念ホール(ベテル)にて夕食懇談会が開催された。ゲスト参加者:山梨 YMCA 理事長野々垣健吾、中田淳子山梨 YMCA 総主事 中田淳子、スタッフ平賀佳雅、河西佳雅

4 月 9 日(日)(8:00 開会)

【日曜礼拝】

司会:清藤書記

奏楽:豊田香織(愛宕町教会)

説教:戸俊介牧師(愛宕町教会)

(礼拝献金 22,500 円は東日本区大震災被災者復興支援活動に捧げられた)

【委員会、専任委員等報告】

資料に基づき各委員長、専任委員から各々、報告が行われた。

〈質問、意見、感想〉

- ・ 東西日本区交流会において、奉仕団体フォーラムがおこなわれ、有意義であった。ワイズ、ロータリー、ライオンズ、キワニスの情報交換がなされ、地域で協力していこうという固い決意があったと思うが、その後が見えてこない。それぞれの区なりガバナーレベルで、本件が

統括部門から各レベルに降りていくということはないのか(田中)。

←まだない。(板村)。

←国際奉仕団体としての国際協調は行われている。主要都市で協議会・連絡会が行われている(利根川恵子)

なお、参加者に対して、高田 JEF 委員長から JEF 献金の呼びかけが行われ、32,000 円が捧げられた。

【グループディスカッション】

「ワイズのこれから」をテーマに 5 グループに分かれて実施した。各グループの発表報告は、概略、以下のとおり。

A Group:佐藤重良、小山久恵、*深尾香子、高田一彦、廣田光司、渋谷実季

今後、連絡事項とか会議を簡略化してはどうかから始まった。どうしたら楽にしていけるか多くの人が声を出しているけれども、現状に必要なものを見極めて良いものを選んでいく作業が必要であろう。若い人と一諸にあることは年齢差で難しい。地元の団体と繋がることを考えて一歩出かけていく。その際自分たちに自信をもって 100 年も続く団体であることをアピールしながら地域入っていく。コロナで止まっていたものを復活してそれを自信にしていけるだろう。4 つの事業委員会は時には一つになって話し合う機会が必要。簡略化につながるか。主査の出席率が悪い。何故なのか考えよう。

B Group:*山田公平、佐藤節子、小倉恵一、大沢篤人、進藤重光、森本俊子

これからこう在りたいということ:会員が何かしたいと思うことが出来るクラブにしたい。若い人の親世代が関心をもつクラブにしたい。何かサービスのニーズを持っている人達の声を聴いてそれに応えていくクラブにすべき。

今の問題点:会費の使い方が明確でない。変化しているニーズに伝えていけているか。会議が多すぎる、担当している YMCA のスタッフが仕方なく出ている。

C Group:*大久保知宏、利根川太郎、小松仲史、長尾昌男、松村仁子

女性が増えるのが良いのではないかと、なぜなら多様性が生まれ新しい活動が生まれる。しかし、女性はライフステージの変化でやめる例がある。若者も、高齢者もそうで、

ライフステージが変化しても参加できるようにすることがワイズに求められる。今のルールでは難しい。例えば「例会に参加しなければならない」というルールはライフステージの変化した人たちには負担になっているのではないかと。沢山あるルールを少し減らし、柔軟なワイズが求められる。新しいワイズメンズクラブは、仲良しクラブとして集まっていくクラブもある。一方ではミッションをやりたい人たちのクラブもある。クラブの性格を明らかにして選択できるような時代になれば良いのではないかと。そうなる一つのルールでは難しくなり、少しクラブ会則を変えていく必要がある。若い世代はメンターとなる人と話がしたい、もっと自己アピールしたいこともある。

D Group:栗本治郎、荻野 清、田中博之、*鈴木伊知郎
東西日本区で成功しているクラブをみるとワイズに入ると社会的ステータスが上がるという意識があるというのが特徴。そのため例会を充実させなければならない。例会をホテルで実施、年会費が高くなるので年金者にはきびしいのが悩むところ。例会は楽しくなければならぬ。少ないクラブは合同例会で有名な人を卓話者に呼ぶのが良い。若者を入会させるには、「無尽」の若者から、JC から、大学生から、ボーイスカウトから YMCA へそしてワイズへ、教会の若者を誘うなど。若者を辞めさせない努力が必要。

E Group:板村哲也、*山下 真、仙洞田安宏、利根川恵子、清藤城宏

時代は変化している。若い人を含め考え方も変化し時代に対応していかなければならない。我々には他の奉仕団体にない柔軟性を持っている。それを生かして生きながら時代に寄り添っていくことが大切ではないかと。どうするかは時間切れで終わった。

*=Group 発表報告者

【監事講評】

田中行政監事:リアルで開催するメリットが実現できた充実した役員会であった。多くの質問、意見が出たことも評価する。改善点としては、事業主任、部長の報告が行動記録にとどまったものが多く見られたことである。役員会は、予定どおり出来なかったこと、困っていること、新しい課題などを共有してアドバイス、サポートする場であって欲しい。報告書のフォームを工夫し、より実効性の高い役員会となることを要望する。

次期役員会メンバーで、これまでの 2 回の研修会、今回の役員会を全て欠席した者が 5 名いることに憂慮している。次期理事のフォローをお願いする。戦略 2032 に基づく区、部での中長期計画の検討が行われていない。次期では「将来構想委員会」を立ち上げるとのことであるが、速やかなスタートと、皆さんの積極的な関与に期待する。

小倉財政監事：議案の審議に熱心に意見交換が出来た。山梨 YMCA 新館の良いお披露目にもなった。山梨 YMCA の方にも懇親会に出席いただいてワイズと YMCA の係わりを職員から聴けたことが良かった。ワイズと YMCA の関係が強調されたプログラムであった。YVLF 支援金の納入の件を各部長は持ち帰っていただいて、財政の健全化に協力にしてください。

【YMCA の歌】一同

【閉会挨拶】山田次期理事

【閉会点鐘】佐藤理事

【閉会終了】11:15 分

上記の議事の内容を明確にするため、この議事録を作成する。

議長(理事) 佐藤重良
次期理事 山田公平
直前理事 大久保知宏

第 4 回東日本区役員会議事録

【日時】2023 年 5 月 30 日(火) 19 時～20 時 35 分 オンライン会議

【出席者】

東日本区役員(出席義務者):

<常任役員>佐藤重良理事、山田公平次期理事、大久保知宏直前理事、清藤城宏書記、荻野清会計(5)

<事業主任> 小山久恵 CS・Y サ事業主任、佐藤節子 会員増強事業主任、利根川太郎国際・交流事業主任、衣笠輝夫ユース事業主任(4)

<部長>小谷和雄北海道部部长、大久保知宏北東部部长(重複)、工藤大丈関東東部部长、深尾香子東新部部长、小松仲史湘南・沖縄部部长、前原末子富士山部部长

(6)以上議決権者計 14 名 欠席(委任状)後藤明久あずさ部部长(1)

監事:

田中博之行政監事、小倉恵一財政監事(2)

理事からの出席要請者:

駒田勝彦文献・組織検討委員長、山下真 LT 委員長、高田一彦 JEF 委員長、大澤篤人東日本区担当主事、松村仁子ワイズメネット委員長、仙洞田安宏ヒストリアン、加藤重雄 TC、小林隆東日本区事務所長、山本俊一副書記、山口了副会計、大和田浩二次期書記、山口直樹副書記、長谷川あや子代議員会議長(13)

司会/記録:清藤城宏

【開会挨拶】佐藤東日本区理事

【定足数確認】議決権者 14 名/15 名、東日本区定款 8 条 4 項に基づき東日本区役員会の成立を宣言

【議事録署名人】山田次期理事、大久保直前理事(年間議事録署名人)

【議案審議】佐藤理事が議長となり議案審議が行われた。

第1号議案 第3回東日本区役員会議事録承認件

清藤書記が前回役員会記録を読み上げた。4 ページ 深尾部長の発言の項 下田クラブ→東京むかでクラブに訂正。以上訂正し、全会一致で承認された。

第2号議案 東日本区年次代議員会議案事前審議

2022-2023 東日本区年次代議員ワークブックの議案に沿って各提案者から各議案の確認作業が行われた。

田中行政監事から年次報告書に付随する行政監査報告書の説明があった。

採決の結果、全会一致で承認された。

第3号議案 FF 献金の年度末残額の扱いに関する件

提案者:佐藤理事、山田公平次期理事、小山久恵地域奉仕 Y サ事業主任の連名

山田次期理事から第 3 号議案提案書に基づき、以下の提案がなされた。

ファミリーファスト献金(FF 献金)を今までずっと行ってきたが、累積繰越金は、1,357,783 円である。年間の献金額が 20~30 万円程度であるのに対して支出

はおおよそ 10 万円程度。その繰越金が 135 万円まで増えた。①毎年の FF 献金の残額を各年度末に「CS・Y サ・ASF 資金」に繰り入れる②今年度に関しては年度末に「CS・Y サ・ASF 資金」に 99 万 3,383 円(誤植訂正)と、次期に発足する予定のユース事業ファンドに 50 万円を移管することを提案する。

田中: FF 献金の用途として、これまでの HIV/AIDS 啓蒙活動への支援をやめるわけではなくこれからも引き続き頑張っていて取り組んでいただき、もし余ったらより、有効に活用できるようにするというのが本提案の趣旨だと思う。提案書には、区内への情宣に努め理解を得ることとする、と記されているが、土曜日の代議員会でも是非とも予算案の中で十分に皆さんに伝えていただきたい。

採決の結果、全会一致で承認された。

第4号議案 札幌北クラブと札幌クラブの合併

提案者・北海道部小谷部長から第 4 号議案提案書に基づき説明があった。

仙洞田: こういう場合は「合併」というのか。札幌北クラブの「解散」という扱いなのか。

田中: 札幌北クラブの解散ということだけではなく、クラブごと原則全メンバーが札幌クラブに移るということだと解釈している。単に解散としたのでは無いのには、将来に向けての思いも込められていると私は思い、祝福させていただきたいと思う。

採決の結果、全会一致で承認された。

第5号議案 東京北クラブ解散の承認

提案者・関東東部工藤部長から説明があった。残ったメンバーに関しては他のクラブに移籍して活動を継続する意志があるとの補足説明があった。

衣笠: 東京北クラブは特徴的な活動として清泉女子大学学 Y との交流をずっと続けて来ている。東京北クラブの解散に伴って こことの繋がりはもうなくなってしまふということか?

工藤: コロナ渦の中でなかなか繋がりは持ってなかったという報告を頂いているが、清泉との繋がりで非常に重要と認識しており、一旦解散を承認いただいて、その後、どこが引き継ぐべきなのかを部で議論していきたい。

採決の結果、全会一致で承認された。

第6号議案 東新部内2クラブの統合の承認件

提案者・東新部部長深尾部長から説明があった。2年以上かけて合同例会を続けつつ、一緒になることでより元気になれるという確信を得ることができた。新しいクラブ～東京多摩スマイルワイズメンズクラブ という名前で、活動をして行きたいとの補足説明があった。

大久保: 評議会への議案提案というのは両クラブから出たということか。

深尾: 然り。採決の結果、全会一致で承認された。

第7号議案 東日本区事務所長承認の件

提案者・佐藤理事から説明があった。田中行政監事から議案内容の文言について「事務所長に」という箇所を「2023-2024 年度の東日本区事務所長に」と修正のアドバイスがあった。

採決の結果、全会一致で承認された。

【その他報告等】

- 佐藤理事より年次報告の概略説明があった。
- 連絡事項として区大会に係る引継式のバッジ交換、進行の確認を行った。
- 次期理事が未定ということに関して、以下の話し合いがあった。
 - 大久保: 本来なら 6 月末までに決めないと 7 月からの新年度の次期理事不在という状態になり、それを補う方法を何かを考える必要がある。例えば現部長から次期理事代理が出るとか、現書記が次期理事代理されるとか。何らかの形で 3 人いることよっての意味があるのではないかと思う。
 - 佐藤理事: 毎年、理事の後任がなかなか決まらないことについては何らかの対策を、例えば半年内に検討すべきである。
 - 大久保: 理事経験者をお願いをして次期理事代理をとるようにした方が多分次期のキャビネットには必要なかと思っている。次年度の常任役員会等でご検討いただく手もある。代理制度のようなもの考えた方がいいのではないかなと思っ

た次第である。

- 田中: 現行の制度では公的には何もできない。理事をサポート、アドバイスする人ということであり、表には出ない役職となる。
- 大久保: 常任役員会には今回行政監事で清水さんが出席されるが、清水さんは理事経験者ということでご意見をいただくとは可能だと思う。
- 清藤: 常任役員会でよく話し合ったほうが良いと思うので、次の常任役員会の議案にしてはどうか?
- 山田: そうしていただきたいと思う。

【監事講評】

田中行政監事:

皆さんが提出された年次報告書は、ほとんどの方が、できなかったことも書かれていることを評価する。今期はまだ1か月ちょっとあり、残された期間で、やり残したことをできるだけ仕上げていただきたい。また、なぜできなかったのか、こうすればよかったということをまとめていただき、次期の方に引き継いでいただきたい。今回の年次報告書は中間報告で、8月の臨時代議員会に向けては、この中間報告提出後のできごとや課題を追加していただきたい。

2年間の任期中、監事としては、多くを語り過ぎたかも知れないが、より良い東日本区を願っての発言だったということでご容赦いただきたい。今期の皆さんの労に感謝し、また、次期の皆さんの活躍を祈念する。

小倉財政監事

議事がすべてスムーズに承認されたことを喜びたい。一点気になることがあり、6号議案で東新部の2クラブの「統合」が承認されたが、東日本区の定款では「合併」の規定はあるが、「統合」というのは無く、実質は合併と読み替えるということで承認されたというふうに理解をして良いのか確認したい。

→ 定款に合わせて「統合」という言葉を「合併」に直す
ということで深尾部長は了解した。

田中監事が今の講評の中でも話していたが、年次代議員会での年次報告書に行政監査の報告書その中の「付帯意見」というのが1ページ半にわたって書かれて

いる。これは、田中行政監事の熱い思いであり、改めてお読みいただくことをお願いしたい。一年間本当にお疲れ様でした。

【閉会挨拶】山田次期理事

【閉会宣言】佐藤理事

【閉会終了】20:35分

上記の議事の内容を明確にするため、この議事録を作成する。

議長(理事)	佐藤重良
次期理事	山田公平
直前理事	大久保知宏

2022-23 年度東日本区行政監査報告書

2022-23 年度行政監査報告書

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区

2022-23 年度理事 佐藤重良様

2023 年 7 月 24 日

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区

2022-23 年度 監事 田中博之

同 小倉恵一

東日本区定款第 19 条「監事の任務」の第 2 項および第 3 項の規定に基づき、2022 年 7 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日までの期間のワイズメンズクラブ国際協会東日本区理事の職務の執行状況、東日本区の内部統制システムの機能状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

<補足>

東日本区定款第 6 条「代議員会」の第 9 項(1)の定めにより、2023 年 6 月 3 日に開催された年次代議員会において、2023 年 5 月 31 日時点での行政監査の結果を中間報告として提示いたしました。

今般、2023 年 6 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日までの期間についての行政監査を行った上で、上記中間報告書の記述を一部変更、追加し、2023 年 8 月に開催される予定の臨時代議員会に提示する次第です。

記

【監査方法】

監事は、日頃、理事および関係者との意思疎通を図り、また、監査期間中に開催された全ての東日本区役員会、同常任役員会、東日本区主催の研修会に出席し、2022-23 年度の年次報告書も参考にし、適切な監査を行うための情報収集、モニタリングを実施いたしました。

【監査結果】

2022 年 7 月 1 日から 2023 年 6 月 31 日までの期間、東日本区理事は、ワイズメンズクラブ国際協会の憲法・ガイドライン、同アジア太平洋地域の憲法・ガイドライン、同東日本区の定款・定款施行細則、その他の規則に従い、また、法や社会規範に反することなく職務を遂行し、東日本区の運営が適切に行われていたことを認めます。また、理事の年次報告書は、活動状況を正しく示していることを認めます。

【付帯意見】

以下に、今年度(2022-23 年度)を振り返って、理事の職務遂行状況のみならず、東日本区全体や各事業に関わる事項について、また、2023-24 年度への提言も含め、付帯意見を記します。

総括

今年度も新型コロナウイルスの影響によって、対面の会合を持っていないなど、東日本区の活動は、大幅に制限された状態でスタートしました。しかし、このような状況下においても、理事を始めとする区のリーダーの皆さんの熱意とリーダーシップによって、区の組織運営、各事業活動が可能な限り活発に行われたことに敬意を表します。

年度の中盤からは、活動の制約も徐々に緩やかになり、11 月の第 2 回東日本区役員会は対面と Zoom によるハイブリッドで開催され、4 月の第 3 回東日本区役員会は対面のみで開催され、また、東西日本区交流会、東日本区大会も対面で

行うことができるまでに至りました。特に、東日本区大会は、2019 年以來の対面による大会でしたが、大会実行委員会の皆さまのご尽力により、また、財政的にもご支援いただき、意義ある大会、交流の楽しさを実感できる大会となりました。

一方で、コロナ禍の影響もあり、会員増強を始めとする各種目標が達成できなかったもの、計画されていた事業の内、十分に取り組むことができなかったものも見受けられます。今年度の「東日本区年次報告書」では、理事以下、多くの方々が、単に 1 年間の記録だけではなく、できなかったこと、不十分だったことを記載されていることを評価いたします。今後はさらに、何故できなかったのか、目標・計画が妥当なものであったかなどの検証、分析も加えて、それぞれ、次期の方々に引き継いでいただくとともに、サポートを行っていただきたいと思ひます。

また、次期(2023-24 年度)の役員皆さまに対しては 2021-22 年度からの懸案である東日本区ウェブサイトのリニューアルを含め、今期からの引き継ぎ案件について早期の対応、実施をよろしくお願ひいたします。

「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」のときに変わりつつある今そしてこれから、区、部、クラブが、明るく、希望を持ち、伸び伸びと課題の解決と活動の発展に取り組まれていくことを願ひます。

中長期計画について

2022 年 5 月、ワイズメンズクラブ国際協会は、創立 100 周年を機に、YMI の新世紀において、これからの 10 年に向けての長期計画である「戦略 2032」を国際議会で採択いたしました。キーワードは、「親睦(フェロウシップ)と地域社会への影響力」であり、また、「健康、環境、教育」です。

今年度、東日本区においては 7 月の第 1 回東日本区役員会および 12 月の次期部長・事業主任研修会で説明会が開催され、区、部、クラブで「戦略 2032」の学びの場を設け、また、これを受けての中長期計画を策定することが奨められました。しかしながら、今年度は、この取り組みの進捗を見ることはできませんでした。

これまで、区理事を始めとするワイズの役員は、単年度任期が基本で、事業計画も単年度のものに留まることがほとんどでしたが、中長期的なビジョン、目標を掲げ、それらをメンバーに良く浸透させた上で、各年度においてなすべきこと、目標を立てて取り組み、PDCA(Plan Do Check Action)のサイクルの中で、適宜振り返りを行い、必要な方向修正/目標変更を行っていくことが望まれます。

次期の山田理事は 2 年間理事を務められ、より長いスパンでの計画を立て、じっくりと課題に取り組むことができることは幸いです。また、次期には、東日本区の将来構想をまとめる委員会を立ち上げられる予定ですが、「戦略 2032」に呼応して、例えば 10 年先に私たちの組織、活動がどうなっていきたいのかのビジョン・夢を描き、それに向けての具体的なアクションプラン、マイルストーンを多くの会員の意見も取り入れた上で策定されることに大いに期待しています。また、是非、部、クラブでも志しを高くした、中長期の計画を立てられることをお奨めいたします。

東日本区の収支について

今年度、佐藤理事は支出の削減に務められましたが、今年度の東日本区経常会計の年度末単年度収支は、年度末に新設されたユース事業ファンドへの 100 万円の移管を除いて、約 100 万円の赤字となりました。2021-22 年度からの繰越金が約 500 万円あったため、経常会計を維持できた状況にあります。

単年度赤字の原因は、収入面では会員数が伸び悩んだことによる区費収入の減少、支出面では円安による国際会費(スイスフラン)、アジア太平洋地域会費(米ドル)の負担増が主な原因と思われまます。

次期も、これらの要因の影響を受け、また、「アフターコロナ」による対面会議の増加による交通費補助の支出が増えることが予想されるため、予算案の策定には相当苦勞されたことと思われまます。

収支を改善するためには、収入を増やし、支出を減らせば良い訳ですが、支出を抜本的に今以上削るのは困難であり、むしろ各事業でやるべきこと、やろうとしたいことを進めていくためには、区事業費などの増額も望まれるところですが、従って、まずは、収入の増加を図っていく必要があり、会員増強に一層取り組んでいただくことに加え、定常的に公的援助や、寄付金を得られるような相手、スキームを探すこと、さらには区としての収益事業の検討などを行っていく必要もあります。これらについても、ぜひ将来構想の検討の対象としていただきたいと思ひます。なお、東日本区区費は 2006 年度にそれまでの年額 14,000 円が 15,000 円に改定されました。それから 17 年が経過した今、区費の妥当性について検証することも必要と思われまます。

2022-2023 年度東日本区会計決算

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区決算書
2022-2023年度 (2023. 6. 30期末決算書)

2023年6月30日

収入の部

科目	予算額	決算額	備考
東日本区費	12,282,000	11,026,000	前期58ヶクラブ(770名5,499,400円)後期59ヶクラブ(774名分5,526,600円)
ハンドブック&ロースター	502,000	359,000	東369冊×700円+西日本区53冊×1,900円
入会金	360,000	246,000	入会者41名×6,000円
物品売上	50,000	0	ワイズ読本等 売上なし
国際加盟金	39,000	14,063	CHF100.00×1クラブ(甲府やまなみ)
YMIワールド補助金	114,920	111,658	794名(2022.1.1会員数invoice指定数)×1CHF×¥140.627円
受取利息	0	6	8/2、2/20みずほ銀行普通預金1930936
ユース活動支援金(献金)	412,000	250,250	ユース活動支援 33クラブ(目標770会員×500円)
雑収入	30,000	0	
前期前受金受入	0	200,000	前期YVLF負担金を前期前受金受入へ振替
YVLFクラブ負担金	1,160,000	1,160,000	20,000円×58クラブ
ユース活動参加費	40,000	4,100	OFY(オープンフォーラム)参加費
YVLF参加費	340,000	249,300	1-クラブ-3,000円×28人+ユーススタッフ75,000円×3人+ワイズ参加者17人130,200円+寄付20,100円
収入小計	15,329,920	13,620,377	
前期繰越金	4,230,732	5,094,803	
合計	19,560,652	18,715,180	

支出の部

科目	予算額	決算額	備考
国際会費	3,885,700	3,821,998	前期1,923,355円770名、後期1,898,643円774名
アジア太平洋地域会費	614,880	648,140	前期313,767円、後期334,373円
アジア太平洋地域自然災害緊急支援基金	197,760	210,959	770名×USD2×136.987円
国際加盟金	39,000	14,063	甲府やまなみクラブ×CHF100.00×140.627円
東日本区大会支援金	247,200	231,000	770名×300円=231,000円(定款の500円を300円で予算化)
東日本区事務所(家賃)	1,224,000	1,224,000	7月～6月 102,000円×12ヶ月(YMCA同盟会館四谷)
東日本区事務所(業務委託費)	1,200,000	1,200,000	7月～6月 100,000円×12ヶ月(区事務所長)
会議費	50,000	30,320	第2回東日本区役員会御茶代、第3回役員会会場使用料29,000円
旅費・交通費	950,000	934,600	事務所長4万円×12ヶ月、次期会長・部役員研修116,800円、役員会184,100円 他
区・事業費	800,000	1,294,836	理事引継式82,511円、メネット委員会20万円、次期会長研修補助103,463円、区大会567,972円 他
部・事業費	947,200	931,000	7部×100,000円+会員770名×300円
事務通信費	400,000	381,923	プロハイト代・電話代・送料・切手
宣伝印刷費	400,000	834,069	YMIワールド4号1号2号60,500円×3、東西交流会7759,080円、一社概要書437,800円 他
コピー機カウンターチャージ	240,000	234,564	コピー機リース料16,092円×12ヶ月、コピー機使用料12ヶ月41,460円
ハンドブック&ロースター	502,000	343,480	東日本区500冊200,980円(新会員用50冊、他)、西日本区1,900円×75冊=142,500円
消耗品・事務用品費	50,000	41,345	PCインク、コピー用紙、ファイル 他
EMC物品費	570,000	212,300	新入会員キット3,300円×41、ランチョンベル77,000円
慶弔費	50,000	63,002	生花4先、弔電8通
銀行手数料	50,000	63,220	振込等(振込、みずほ銀行国際送金、残高証明)
雑費	50,000	0	
予備費	0	0	
ユース活動費	435,000	163,203	IYC補助金24,000円×5名、OFY費用43,203円
YVLF	1,500,000	1,208,783	9/30～山中湖にて実施(ユースリーダー28名参加)
租税公課	70,000	70,000	法人都民税(年70,000円)
広報費	360,000	0	
役員活動補助金 理事/次期理事/直前理事	80,000	80,000	理事4万円、直前理事2万円、次期理事2万円
書記/会計	40,000	40,000	書記2万円、会計2万円
事業主任4名	80,000	80,000	事業主任2万円×4名
部長7名	140,000	120,000	部長2万円×6名(北東部長は直前理事と重複-2万円)
委員長/専任委員	80,000	60,000	委員長1万円×3名(事務所人事重複)、専任委員1万円×3名(IT重複)
監事	20,000	20,000	行政監事1万円、財政監事1万円
理事スタッフ	20,000	20,000	副書記1万円、副会計1万円
ユース事業ファンド繰入金	1,000,000	1,000,000	代議員会決議による変更
支出小計	16,292,740	15,576,805	
次期繰越金	3,267,912	3,138,375	
合計	18,560,652	18,715,180	

<国際会費>：前期 1,923,355円…(765名×CHF17.5+35才以下5名×CHF8.75)×143.2円

後期 1,898,643円…(769名×CHF17.5+35才以下5名×CHF8.75)×140.64円(YMI補助金111,658円)

<アジア太平洋地域会費>：前期 313,767円…(757名×USD3+35才以下13名×USD1.5)×137.016円

後期 334,373円…(769名×USD3+35才以下5名×USD1.5)×144.50円

貸借対照表

2023年6月30日

資産の部			
現預金	23,614,514	未払金	1,739,860
貯蔵品	0	前受金	0
未収金		預かり金	0
仮払金	100,000	災害募金	54,165
		東日本大震災支援募金	187,524
		各種献金残高合計	2,386,593
		JEF	14,707,997
		ユース事業ファンド	1,500,000
		次期繰越金	3,138,375
計	23,714,514	計	23,714,514

特別資金会計

J E F

収入の部		支出の部	
当期入金	1,598,201	当期支出 トルコ・シリア地震	298,680
前期繰越金	13,408,476	次期繰越金	14,707,997
計	15,006,677	計	15,006,677

PWALP

収入の部		支出の部	
当期入金	140,400	当期支出 (国際送金) 誤送金返却	140,400
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	140,400	計	140,400

TOF

収入の部		支出の部	
当期入金	760,285	当期支出 (国際送金)	760,285
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	760,285	計	760,285

CS/ASF

収入の部		支出の部	
当期入金 (CS) FFから993,383	1,873,288	当期支出 YMCAへ	1,100,000
(ASF)	262,150	ASFアジア太平洋地域へ送金	78,645
前期繰越金	817,649	次期繰越金	1,774,442
計	2,953,087	計	2,953,087

F F

収入の部		支出の部	
当期入金	254,150	当期支出 AIDS文化フォーラム横浜	100,000
		CS・Yサ・ASF資金へ	993,383
前期繰越金	1,357,783	ユース事業ファンドへ	500,000
計	1,611,933	次期繰越金	18,550
		計	1,611,933

B F

収入の部		支出の部	
当期入金	925,852	当期支出 (国際送金)	925,852
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	925,852	計	925,852

E F

収入の部		支出の部	
当期入金	40,000	当期支出 (国際送金)	40,000
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	40,000	計	40,000

RBM

収入の部		支出の部	
当期入金	449,000	当期支出 (国際送金)	449,000
前期繰越金	169	次期繰越金	169
計	449,169	計	449,169

YES

収入の部		支出の部	
当期入金	246,650	当期支出 アジア太平洋地域送金	200,646
前期繰越金	154,642	次期繰越金	200,646
計	401,292	計	401,292

ワイズメネット献金

収入の部		支出の部	
当期入金	307,600	当期支出(東日本大震災36万円,絵本購入) (国際送金)	538,587 74,600
前期繰越金	698,373	次期繰越金	392,786
計	1,005,973	計	1,005,973

【各種献金残高合計】(JEFを除く)

PWALP	0
TOF	0
CS/ASF	1,774,442
FF	18,550
BF	0
EF	0
RBM	169
YES	200,646
ワイズメネット	392,786
計	2,386,593

東日本大震災支援募金

収入の部		支出の部	
当期入金	194,501	当期支出 石巻広域クラブへ震災支援	200,000
前期繰越金	193,023	次期繰越金	187,524
計	387,524	計	387,524

災害募金(ウクライナ募金+ミャンマー募金+熊本地震)熊本地震募金は残高ゼロ

収入の部		支出の部	
当期入金	955,485	当期支出 トルコ・シリア地震701,320円 ウクライナ200,000円、熊本地震41,602円	942,922
前期繰越金	41,602	次期繰越金	54,165
計	997,087	計	997,087

ユース事業ファンド(2023.6.30設立)

収入の部		支出の部	
当期入金 一般会計100万+FF50万	1,500,000		
前期繰越金	0	次期繰越金	1,500,000
計	1,500,000	計	1,500,000

預り金明細

当期入金	0	当期支出(長野、熱海グローリー) (東京江東、東京ベイサイド)	30,300
前期繰越金	30,300	次期繰越金	0
計	30,300	計	0

未払金明細

ウェブサイト更新料	1,290,000		0
東日本区大会時の区事業費	12,060		
一般社団法人概要書(パンフレット)	437,800	次期繰越金	1,739,860
計	1,739,860	計	1,739,860

仮払金明細

株斎藤工芸	100,000		0
東日本区大会準備金貸与	0	次期繰越金	100,000
計	100,000	計	100,000

財産目録

2023年6月30日

7.31

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金	額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金		
現金手元在高	136,776	
郵便振替口座	8,602,052	
普通預金		
みずほ銀行 (JEF)	4,707,997	
普通預金	167,530	
みずほ銀行		
普通預金	159	(USD1.61)
みずほ銀行 (US\$)		
定期預金	10,000,000	
みずほ定期 (JEF)		
		23,614,514
貯蔵品	0	
短期貸付金	0	
未収入金	0	
仮払金		
齋藤工芸保証金10万円	100,000	
流動資産合計		100,000
2. 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計		23,714,514
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
ウェブサイト更新料1,290,000	1,739,860	
東日本区大会の区会計負担12,060		
一般社団法人概要書437,800		
前受金	0	
預理事引継式82,511円、メネット委員会20万円、	0	
東日本区ワイズ基金 (JEF 献金)	14,707,997	
東日本大震災支援募金	187,524	
各種献金		
PWALP. TOF. CS/AFS. FF		
BF. EF. RBM. YES. ワイズメネット	2,386,593	
ユース事業ファンド	1,500,000	
災害募金	54,165	
流動負債合計		20,576,139
2. 固定負債		
固定IYC補助金24,000円×5名、OFY費用43,203円		0
負債合計		20,576,139
正味財産		3,138,375
負債・正味資産合計		23,714,514

2022-23 年度東日本区決算会計監査報告書

ワイズメンズクラブ国際協会

2022-2023 年度

東日本区理事 佐藤 重良 様

東日本区決算会計監査報告書

私たちは、東日本区定款第 15 条第 2 項(2)の規定に基づき、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の 2022-2023 年度決算(2022 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日)の会計監査を行いましたので、次の通り報告いたします。

監査日時: 2023 年 7 月 21 日午後 1 時 50 分から

監査場所: 日本 YMCA 同盟会館 2 階会議室

監査立会人: 2022-2023 年度東日本区理事 佐藤 重良

2022-2023 年度東日本区会計 荻野 清

2023-2024 年度東日本区会計 鈴木 伊知郎

東日本区事務所所長 小林 隆

1. 監査方法

提示された収支計算書、貸借対照表、財産目録、特別会計の諸表を基に、総勘定元帳並びに金融機関の残高証明書、通帳等の証憑書類と照合検討する。

2. 監査結果

監査方法に基づき、2023 年 6 月 30 日現在の会計監査を実施した結果、財産の状況、会計処理は適正であることを確認いたしましたので、ここに報告させていただきます。

2023 年 7 月 31 日

ワイズメンズクラブ国際協会

2022-2023 年度

東日本区監事 小倉 恵一

東日本区監事 田中 博之

2022-23 年度各クラブ献金一覧

2022-2023年度クラブ別各種献金一覧

クラブ名	基礎 人数	BF			TOF	CS			ASF	FF	RBM	YES	EF	ユース支援
		現金	使用済切手	合計		現金	年賀切手	合計						
札幌	9	0	0	0	0	10,000	0	10,000	0	0	0	0	0	0
北見	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十勝	16	32,000	0	32,000	20,800	20,000	0	20,000	8,000	8,000	12,000	8,000	0	8,000
札幌北	8	8,000	0	8,000	5,200	5,000	0	5,000	2,000	2,000	3,200	2,000	0	2,000
仙台	11	0	1,920	1,920	14,300	13,750	0	13,750	0	0	0	0	0	0
前橋	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇都宮	30	0	0	0	39,000	37,500	0	37,500	15,000	0	0	15,000	0	15,000
仙台青葉城	13	0	0	0	16,900	16,250	0	16,250	6,500	0	0	0	0	6,500
足利	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇都宮東	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
那須	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
もりおか	14	28,000	253	28,253	18,200	17,500	0	17,500	7,000	7,000	11,200	7,000	0	0
仙台広瀬川	15	0	0	0	19,500	18,750	0	18,750	0	0	0	0	0	0
石巻広域	21	19,000	0	19,000	13,000	27,000	0	27,000	0	0	0	5,000	0	0
東京江東	19	38,000	0	38,000	24,700	23,750	0	23,750	9,500	9,500	85,200	9,500	0	0
千葉	11	22,000	0	22,000	14,300	13,750	0	13,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0	5,500
東京グリーン	12	24,000	0	24,000	15,600	15,000	0	15,000	6,000	6,000	9,600	6,000	0	6,000
埼玉	6	12,000	0	12,000	7,800	7,500	0	7,500	3,000	3,000	4,800	3,000	0	3,000
東京北	7	14,000	0	14,000	9,100	8,750	0	8,750	3,500	3,500	5,600	3,500	0	3,500
所沢	14	28,000	0	28,000	18,200	17,500	0	17,500	7,000	7,000	11,200	7,000	0	7,000
東京ひがし	10	0	0	0	13,000	0	0	0	5,000	0	8,000	5,000	0	5,000
川越	9	18,000	447	18,447	11,700	11,250	0	11,250	4,500	4,500	7,200	4,500	0	4,500
茨城	7	7,000	0	7,000	4,550	5,400	0	5,400	1,750	1,750	2,800	1,750	0	0
東京ベイサイド	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,400	0	0	0
千葉ウエスト	9	4,000	0	4,000	2,600	2,500	0	2,500	1,000	1,000	1,600	1,000	0	1,000
東京	23	66,000	780	66,780	24,900	21,000	0	21,000	15,500	15,500	17,800	16,000	0	14,250
東京むかで	8	16,000	0	16,000	10,400	10,000	0	10,000	4,000	4,000	6,400	4,000	0	4,000
東京世田谷	14	28,000	0	28,000	18,200	17,500	0	17,500	7,000	7,000	11,200	7,000	0	7,000
東京町田コスモス	8	8,000	0	8,000	8,000	8,000	0	8,000	4,000	4,000	6,400	4,000	0	1,600
東京センチニアル	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京多摩みなみ	9	21,500	0	21,500	16,000	15,000	0	15,000	10,400	6,900	8,400	6,900	0	8,900
東京町田スマイリング	4	8,000	1,500	9,500	5,200	5,000	0	5,000	2,000	2,000	3,200	2,000	0	2,000
甲府	29	60,000	426	60,426	39,000	37,500	0	37,500	15,000	15,000	24,000	15,000	0	15,000
東京西	11	22,000	0	22,000	14,300	13,750	0	13,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0	5,500
東京武蔵野多摩	9	18,000	60	18,060	11,700	11,250	0	11,250	4,500	4,500	7,200	4,500	40,000	9,000
*松本	11	12,000	0	12,000	7,800	7,500	0	7,500	3,000	3,000	4,800	3,000	0	3,000
東京サンライズ	15	34,000	1,685	35,685	27,535	26,250	2,940	29,190	13,500	8,500	13,600	8,500	0	8,500
甲府21	53	106,000	0	106,000	68,900	66,250	0	66,250	26,500	26,500	42,400	26,500	0	26,500
東京八王子	12	24,000	1,384	25,384	15,600	15,000	0	15,000	0	0	9,600	0	0	6,000
東京たんぼぼ	6	12,000	521	12,521	9,800	9,500	1,470	10,970	5,000	4,000	6,800	3,000	0	5,000
*富士五湖	11	22,000	234	22,234	14,300	13,750	0	13,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0	5,500
*長野	8	8,000	210	8,210	5,200	5,000	0	5,000	2,000	2,000	3,200	2,000	0	2,000
甲府やまなみ	11	0	740	740	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜	11	24,000	0	24,000	15,600	15,000	0	15,000	6,000	6,000	9,600	6,000	0	6,000
鎌倉	11	18,000	0	18,000	11,700	11,250	0	11,250	4,500	4,500	7,200	4,500	0	0
横浜とつか	10	0	0	0	0	50,000	0	50,000	0	0	0	0	0	0
厚木	10	0	0	0	11,700	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000
金沢八景	10	0	0	0	0	13,750	0	13,750	0	0	8,800	0	0	0
横浜つづき	16	0	0	0	20,800	20,000	0	20,000	0	8,000	0	8,000	0	0
横浜つるみ	12	0	0	0	0	31,500	0	31,500	0	0	0	0	0	5,500
*熱海	40	80,000	0	80,000	52,000	50,000	20,595	70,595	20,000	40,000	32,000	20,000	0	20,000
*沼津	13	26,000	0	26,000	16,900	16,250	0	16,250	6,500	6,500	10,400	6,500	0	6,500
*伊東	9	18,000	0	18,000	11,700	11,250	0	11,250	4,500	4,500	7,200	4,500	0	4,500
*三島	8	0	2,256	2,256	10,400	10,000	0	10,000	0	0	0	0	0	0
*下田	6	0	0	0	7,800	7,500	0	7,500	0	0	0	0	0	0
*熱海グローリー	10	0	0	0	0	15,000	0	15,000	6,000	6,000	0	0	0	6,000
*御殿場	12	0	1,500	1,500	0	15,000	0	15,000	6,000	6,000	0	0	0	6,000
富士	12	24,000	2,436	26,436	15,600	15,000	0	15,000	0	0	9,600	0	0	0
*富士宮	16	0	0	0	20,800	20,000	0	20,000	0	0	0	0	0	0
その他														
合計	742	909,500	16,352	925,852	760,285	854,900	25,005	879,905	262,150	254,150	449,000	246,650	40,000	250,250

分科会など



年次代議員会



ワイズメネット会



担当主事会



フレッシュワイズの会

バーナーセレモニー & オープニングセレモニー





山梨英和学院聖歌隊によるハンドベル



来賓・樋口雄一 甲府市長



来賓・田口努 YMCA 同盟総主事



来賓・田上正西日本区理事



来賓・利根川恵子アジア太平洋次期会長



ホスト・飯田剛甲府21クラブ会長

代議員会議長・事業主任・各部長報告



代議員会議長長谷川あや子



CS・Yサ事業主任小山久恵



国際・交流事業主任利根川太郎



ユース事業主任衣笠輝夫



ワイズメネット会委員長松村仁子



北海道部部长 小谷和雄



北東部部長大久保知宏



関東東部部長(代)大澤和子



東新部部長深尾香子



あずさ部部長後藤明久



湘南・沖縄部部長小松仲史



富士山部部長前原末子

講演・石丸謙二郎氏

ニュースアワー 17:30～



私とワイズの繋がりは……



晩餐会 18:45～



6 / 4 日曜礼拝



東日本区奈良傳賞



東日本区奈良傳賞 鈴木健司さん



東日本区奈良傳賞 田村修也さん

表彰



最優秀クラブ 横浜つづき



理事特別賞 栗本治郎さん(熱海)



優秀クラブ 東京たんぽぽ

理事就任・引継ぎ式



佐藤重良理事→山田公平新理事へ

ワイズメンズクラブ国際協会 **かふふ**
第26回 東日本区大会



エクスカーション



表彰一覧

2022-23 年度 東日本区表彰一覧

理事表彰

東日本区奈良傳賞

田村修也 さん(那須クラブ 1940 年 3 月 13 日生まれ 83 歳)

栃木県初のうつのみや YMCA と宇都宮ワイズメンズクラブの設立に中心的役割を果たし、尽力されました。1995 年那須クラブ設立の立役者であり、以後那須クラブの主軸として現在に至られ、地域の高齢者や施設へ歌声の CS 活動を行われています。

鈴木健司さん(甲府クラブ 1935 年 9 月 18 日生まれ 87 歳)

1990 年甲府クラブへ入会され、クラブ会長やあずさ部部長を歴任されました。この間、継続しワイズメンズクラブの後継者の育成・指導を行いワイズの発展に貢献されています。また、山梨 YMCA の常議員、理事、理事長、名誉理事の重責を果たされ、公益財団法人認定や高齢者福祉事業の立ち上げに尽力されました。

最優秀クラブ賞

横浜つづき

コロナ禍にもかかわらず TKB(Tsuzuki Kawaii Bachans)のメンバーを中心に、世の中の状況にあった心のこもった活動を実施されました。

<主な活動内容>

・TKB(ツヅキ・カワイイ・バーチャンズお仕事会)の高齢者施設と保育所へのお誕生日カードのお届け／ウクライナ避難民の方々への手編みマフラーの送付／You & I コンサートの再開

優秀クラブ賞

東京たんぽぽ

少人数にもかかわらず、しっかりとしたクラブの運営が行われ、また、各種献金や区の委員会等の参加にも協力されました。コロナ禍の中、liby チャリティーコンサートを継続実施していることは、ワイズ活動の模範ともいえるべきものです。

理事特別賞

栗本治郎さん(熱海)

コロナ禍の厳しい時代に、Change! 2022 の会員増強特別委員会委員長を 3 年間にわたり担当していただきました。その間、ワイズの情報を世の中発信する QR コードシステムの作成、ワイズナイトフォーラムの実施、YMCA の機関誌にワイズ記事を掲載する仕組み作りなどに強力なリーダーシップを発揮されました。

ブリテン最優秀賞

東京西

話題が豊富でホットとするような記事が多く連載されています。長く連載しているインタビューの記事も読みやすく興味深いです。

ブリテン優秀賞

那須

きれいで読みやすく話題の多いブリテンです。定期的に、支援している幼稚園だより、老人ホーム便り、アジア学院だよりを掲載しています。緑と水の連載物語も 119 回の長期に亘り掲載

甲府 21

文字が大きく読みやすく話題が豊富です。写真と色彩のバランスが良くセンスがありスマートな構成となっています。

熱海

写真をうまく使い、カラフルな楽しく綺麗な紙面です。編集は極めて高いレベルです。

地域奉仕・YMCA サービス事業表彰**地域奉仕活動活動特別賞**

千葉ウエスト

新しいクラブながら、地道に 1 年間一つのプログラム「夏見のおうち子ども食堂」をコツコツと継続

YMCA サービス特別賞

横浜とつか

湘南とつか YMCA リーダー会との連携強化に努めており、SDGs の学習の一環として再生可能エネルギーを提供する電力会社をリーダーとともに見学したり、定期的に YMCA 近くを流れる柏尾川の周辺地域のごみ拾いを実施。例会でも YVLF の参加者からの報告の機会を設けたり、タケノコ堀りを楽しむタケノコ例会への招待や、年度末には感謝会を実施し、世代を超えて共に YMCA の使命実現に向けた取り組みを行っています。

CS 献金貢献賞(一人当たり)

1 位:横浜とつか (5,000 円) 2 位:横浜つるみ (2,625 円) 3 位:東京サンライズ (1,946 円)

CS 献金達成賞

十勝、仙台、宇都宮、仙台青葉城、もりおか、仙台広瀬川、石巻広域、東京江東、千葉、東京グリーン、埼玉、東京北、所沢、川越、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、東京たんぼぼ、富士五湖、横浜、横浜とつか、金沢八景、横浜つづき、横浜つるみ、熱海、沼津、伊東、三島、下田、熱海グローリー、御殿場、富士、(39 クラブ)

年賀切手収集個人優秀賞

山田修司さん (熱海(105 枚) 安田克己さん (熱海 35 枚)

年賀切手収集協力賞

1 位:熱海 (140 枚) 2 位:東京サンライズ (20 枚) 3 位:東京たんぼぼ (10 枚)

ASF 献金貢献賞(一人当たり)

1 位:東京多摩みなみ (1,156 円) 2 位:東京サンライズ (900 円) 3 位:東京たんぼぼ (833 円)

ASF 献金達成賞

十勝、宇都宮、仙台青葉城、もりおか、東京江東、千葉、東京グリーン、埼玉、東京北、所沢、東京ひがし、川越、東京、東京むかで、東京世田谷、東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぼぼ、富士五湖、横浜、熱海、沼津、伊東、熱海グローリー、御殿場 (31 クラブ)

FF 献金貢献賞(一人当たり)

1 位:熱海 (1,000 円) 2 位:東京多摩みなみ (767 円) 3 位:東京 (674 円)

FF 献金達成賞

十勝、もりおか、東京江東、千葉、東京グリーン、埼玉、東京北、所沢、川越、東京、東京むかで、東京世田谷、東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぼぼ、富士五湖、横浜、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、熱海グローリー、御殿場 (29 クラブ)

会員増強事業表彰**新クラブ設立賞** (甲府やまなみをチャーター)

甲府

新入会員獲得最優秀賞

甲府 21 (4 名)

新入会員獲得努力賞

仙台青葉城、東京江東、東京町田スマイリング、厚木 (各 2 名)

会員 15 名達成賞

仙台青葉城、もりおか

新入会員獲得最優秀個人賞

仙洞田安宏さん (甲府やまなみ) 6 名

新入会員獲得優秀個人賞

佐藤重良さん (甲府 21) 3 名、藤原一正さん (甲府やまなみ) 3 名、為我井輝忠さん (東京町田スマイリング) 2 名、佐藤節子さん (厚木) 2 名

出席率部門**出席率最優秀賞**

三島 (100%)

出席率優秀賞

東京八王子 (96%)、千葉ウエスト (95%)、東京西 (95%)、熱海グローリー (94%)、横浜とつか (92%)

ハンドロップ賞

札幌、北見、十勝、札幌北、仙台、前橋、仙台青葉城、足利、那須、もりおか、仙台広瀬川、東京江東、千葉、東京グリーン、埼玉、東京北、所沢、東京ひがし、東京、東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、東京西、東京武蔵野多摩、松本、富士五湖、長野、横浜、鎌倉、横浜とつか、金沢八景、横浜つづき、横浜つるみ、伊東、三島、下田 (36 クラブ)

国際・交流事業表彰**BF 献金貢献賞(一人当たり)**

1 位: 東京 (2,903 円) 2 位: 東京多摩みなみ (2,389 円) 3 位: 東京サンライズ (2,379 円)

BF 献金達成賞

十勝、もりおか、東京江東、千葉、東京グリーン、埼玉、東京北、所沢、川越、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩東、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、東京たんぼぼ、富士五湖、横浜、熱海、沼津、伊東、富士 (27 クラブ)

BF 使用済み切手収集優秀賞

1 位: 富士 (2,436 円) 2 位: 三島 (2,256 円) 3 位: 仙台 (1,920 円)

BF 使用済み切手収集協力賞

仙台、もりおか、川越、東京、東京町田スマイリング、甲府、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、東京八王子、東京たんぼぼ、富士五湖、長野、甲府やまなみ、三島、御殿場、富士（16 クラブ）

TOF 献金貢献賞(一人当たり)

1 位: 東京サンライズ (1,836 円) 2 位: 東京多摩みなみ (1,778 円) 3 位: 東京たんぼぼ (1,633 円)

TOF 献金達成賞

十勝、仙台、宇都宮、仙台青葉城、もりおか、仙台広瀬川、東京江東、千葉、東京グリーン、埼玉、東京北、所沢、東京ひがし、川越、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、東京たんぼぼ、富士五湖、横浜、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、三島、下田、富士（34 クラブ）

RBM 献金貢献賞(一人当たり)

1 位: 東京江東 (4,484 円) 2 位: 東京たんぼぼ (1,133 円) 3 位: 東京多摩みなみ (933 円)

RBM 献金達成賞

もりおか、東京江東、千葉、東京グリーン、埼玉、東京北、所沢、東京ひがし、川越、東京ベイサイド、東京むかで、東京世田谷、東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、東京たんぼぼ、富士五湖、横浜、金沢八景、熱海、沼津、伊東、富士（29 クラブ）

YES 献金貢献賞(一人当たり)

1 位: 東京多摩みなみ (767 円) 2 位: 東京 (696 円) 3 位: 東京サンライズ (567 円)

YES 献金達成賞

十勝、宇都宮、もりおか、東京江東、千葉、東京グリーン、埼玉、東京北、所沢、東京ひがし、川越、東京、東京むかで、東京世田谷、東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぼぼ、富士五湖、横浜、横浜つづき、熱海、沼津、伊東（29 クラブ）

DBC 締結賞

千葉ウエスト、東京西

2023 年 2 月 5 日、第 3 回東西日本区交流会にて西連合 ヘキサゴン DBC の締結式が行われ、東京西、京都ウエスト、大阪西、神戸西、熊本にし、千葉ウエストの 6 クラブ連合による DBC が誕生

ユース事業表彰**YIA (若者の参画・活動) 最優秀賞**

甲府 21

SDGs ユースアクションチームの支援、IYC 送り出しと支援、YVLF へのユース送り出しと参加、オープンフォーラム Y への参画など、ユース活動全般に多大な貢献があった。

YIA 特別賞

宇都宮、東京八王子

SDGs ユースアクション、IYC 送り出しと支援、YVLF への参加、オープンフォーラム Y への参画などで特別な働きがあった。

YIA 推進賞

もりおか、所沢、川越、茨城、富士宮

SDGs ユースアクション、IYC 送り出し、YVLF へのユース送り出し、オープンフォーラム Y への参画のいずれか

に貢献があった。

ユース活動支援献金貢献賞(一人当たり)

1 位:東京武蔵野多摩 (1,000 円) 2 位:東京多摩みなみ (989 円) 3 位:東京たんぼぼ (833 円)

ユース活動支援献金達成賞

十勝、宇都宮、仙台青葉城、千葉、東京グリーン、埼玉、東京北、所沢、東京ひがし、川越、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、東京たんぼぼ、富士五湖、熱海、沼津、伊東、熱海グローリー、御殿場 (28 クラブ)

東日本区会計表彰

グランドスラム賞 全献金達成クラブ(献金事業 9 種全ての目標を達成したクラブ)

千葉、東京グリーン、埼玉、東京北、所沢、川越、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぼぼ、富士五湖、熱海、沼津、伊東 (20 クラブ)

2022-23 年度会長・役員・委員長等名簿一覧

2022-2023年度会長一覧

北海道部4			31	東京センテニアルクラブ	徐 鍾煥
1	札幌クラブ	伏木 康	32	東京多摩みなみクラブ	伊藤幾夫
2	北見クラブ	竹口裕司	33	東京町田スマイリングクラブ	為我井輝忠
3	十勝クラブ	久保田和寿	あずさ部		
4	札幌北クラブ	小谷和雄	34	甲府クラブ	田中克男
北東部			35	東京西クラブ	高嶋美知子
5	仙台クラブ	永井孝憲	36	東京武蔵野多摩クラブ	中村吉孝
6	前橋クラブ	岸 龍也	37	松本クラブクラブ	大和田浩二
7	宇都宮クラブ	中込ひろみ	38	東京サンライズクラブ	菰渕光彦
8	仙台青葉城クラブ	涌澤 博	39	甲府21クラブ	飯田 剛
9	足利クラブ	諏訪治男	40	東京八王子クラブ	花輪宗命
10	宇都宮東クラブ	鈴木伊知郎	41	東京たんぼぼクラブ	服部節子
11	那須クラブ	河野順子	42	富士五湖クラブ	望月 勉
12	もりおかクラブ	三田庸平	43	長野クラブ	森本俊子
13	仙台広瀬川クラブ	菅野 健	44	甲府やまなみクラブ	藤原一正
14	石巻広域クラブ	青木満里恵	湘南・沖縄部		
関東東部			45	横浜クラブ	古賀健一郎
15	東京江東クラブ	大原真之介	46	鎌倉クラブ	池田光司
16	千葉クラブ	古屋朝則	47	横浜とつかクラブ	吉原 訓
17	東京グリーン	樋口順 英	48	厚木クラブ	佐藤節子
18	埼玉クラブ	浅羽俊一郎	49	金沢八景クラブ	山田一男
19	東京北クラブ	村杉 一 榮	50	横浜つづきクラブ	今城高之
20	所沢クラブ	東 裕 二	51	横浜つるみクラブ	久保勝昭
21	東京ひがしクラブ	千代一郎	富士山部		
22	川越クラブ	山本剛史郎	52	熱海クラブ	小林秀樹
23	茨城クラブ	熊谷光 彦	53	沼津クラブ	大村貴之
24	東京ベイサイドクラブ	藤原宏 隆	54	伊東クラブ	稲葉富士憲
25	千葉ウエストクラブ	高田一彦	55	三島クラブ	相川 毅
東新部			56	下田クラブ	長田俊児
27	東京クラブ	進藤重光	57	熱海グローリークラブ	菅谷 正
28	東京むかでクラブ	今井武彦	58	御殿場クラブ	杉山將己
29	東京世田谷クラブ	小川圭一	59	富士クラブ	菊池初彦
30	東京町田コスモスクラブ	加藤祐一	60	富士宮クラブ	樋口 亨

2022-2023年度 東日本区役員・委員長等一覧

役員名		役員名			
東日本区役員	理事	佐藤重良	甲府21		
	次期理事	山田公平	宇都宮		
	直前理事	大久保知宏	宇都宮		
	書記	清藤城宏	甲府21		
	会計	荻野 清	甲府21		
	地域奉仕・Yサ事業主任	小山久恵	東京サンライズ		
	会員増強事業主任	佐藤節子	厚木		
	国際・交流事業主任	利根川太郎	川越		
	ユース事業主任	衣笠輝夫	埼玉		
	北海道部部长	小谷和雄	札幌北		
	北東部部长	大久保知宏	宇都宮		
	関東東部部长	工藤大丈	東京ベイサイド		
	東新部部长	深尾香子	東京多摩みなみ		
	あずさ部部长	後藤明久	富士五湖		
	湘南・沖縄部部长	小松仲史	厚木		
富士山部部长	前原未子	御殿場			
行政監事	田中博之	東京多摩みなみ	東日本区事務所		
財政監事	小倉恵一	甲府	事務所長		
			文献・組織検討委員会委員長	駒田勝彦	甲府21
			IT委員会委員長	山下 真	十勝
			東日本区ワイズ基金運営委員会委員	高田一彦	千葉ウエスト
			東日本区奈良良傳賞選考委員会委員	佐藤重良	甲府21
			ワイズネット委員会委員長	松村仁子	甲府21
			東日本大震災支援対策本部本部長	佐藤重良	甲府21
			東日本区事務所人事委員会委員長	山田公平	宇都宮
			元Change! 2022推進委員会委員長	栗本治郎	熱海
			法人推進委員会委員長	大久保知宏	宇都宮
			ヒストリアン	仙洞田安宏	甲府やまなみ
			ITアドバイザー	大久保知宏	宇都宮
			トラベルコーディネーター	加藤重雄	仙台青葉城
			広報・伝達(PR)専任委員	山本俊一	甲府21
			ユース代表(RYR)	川口夏菜子	
			副書記	山本俊一	甲府21
			副会計	山口 了	甲府21
			区担当主事	大澤篤人	茨城
			担当主事	小林 隆	沼津

2022-23 年度ワイズメネット献金一覧

東日本区 ネット献金一覧表

2022. 7-2023. 6

2023年6月13日

	クラブ名	期首会員数	国内・絵本	国内・大震災	国際・プロジェクト	国際・登録費	合計
北海道部	札幌	8					0
	北見	11					0
	十勝	18	4,000	3,000	3,000	2,000	12,000
	札幌北	8					0
	(4) 小計	45	4,000	3,000	3,000	2,000	12,000
北東部	仙台	12					0
	前橋	6					0
	宇都宮	31					0
	仙台青葉城	13					0
	足利	3					0
	宇都宮東	7					0
	那須	7					0
	もりおか	14	20,000	5,000	5,000	1,000	31,000
	仙台広瀬川	15					0
	石巻広域	21					0
	(11) 小計	129	20,000	5,000	5,000	1,000	31,000
関東東部	東京江東	21	20,000	5,000	3,000	2,000	30,000
	千葉	11	5,000	4,000	1,000		10,000
	東京グリーン	15	5,000				5,000
	埼玉	6					0
	東京北	11	5,000	5,000		3,000	13,000
	所沢	15					0
	東京ひがし	12					0
	川越	9	10,000		10,000		20,000
	茨城	7					0
	東京ベイサイド	13					0
	千葉ウエスト	9	3,000	3,000	3,000	1,000	10,000
(11) 小計	129	48,000	17,000	17,000	6,000	88,000	
東新部	東京	25					0
	東京むかで	9					0
	東京世田谷	14					0
	東京町田コスモス	9	1,000	1,000	1,000		3,000
	東京センチアル	7	5,000	5,000	3,000	2,000	15,000
	東京多摩みなみ	11	2,000	2,000	2,000	200	6,200
	東京町田スマイリング	5	2,000	2,000	3,000		7,000
(7) 小計	80	10,000	10,000	9,000	2,200	31,200	
あざさ部	甲府	30	5,000			1,000	6,000
	東京西	12					0
	東京武蔵野多摩	9					0
	松本	11					0
	東京サンライズ	17	4,000	3,000	3,000		10,000
	甲府21	53	5,000	5,000	5,000	2,000	17,000
	東京八王子	12	12,000				12,000
	東京たんぽぽ	7	3,000		2,000		5,000
	富士五湖	11					0
	長野	8					0
(10) 小計	170	29,000	8,000	10,000	3,000	50,000	
湘南・沖縄部	横浜	12	5,000				5,000
	鎌倉	11	4,000	3,000		3,000	10,000
	横浜とつか	11	5,000				5,000
	厚木	10	2,000	1,000			3,000
	金沢八景	11	5,000	5,000			10,000
	横浜つづき	16	5,000				5,000
	横浜つるみ	12					0
(8) 小計	83	26,000	9,000	0	3,000	38,000	
富士山部	熱海	41	6,000	6,000	6,000	2,000	20,000
	沼津	15	10,000	4,000	3,000	3,000	20,000
	伊東	11					0
	三島	8	3,000	1,000	1,000	400	5,400
	下田	6					0
	熱海グローリー	13	5,000	4,000	3,000		12,000
	御殿場	12					0
	富士	12					0
	富士宮	16					0
(9) 小計	134	24,000	15,000	13,000	5,400	57,400	
その他	メネットのつどい						0
							0
合計		770	161,000	67,000	57,000	22,600	307,600
入金クラブ数					1		
出金			絵本支払 -178,587	東日本大震災支払 -360,000		↓前期残高 698,373	1,005,973
							-538,587
							467,386

2022-23 年度ワイズメネット委員会会計報告献

2022-2023年度ワイズメネット委員会会計報告		
		委員長 松村 仁子
		会 計 荻野 優子
収入の部		
前年度繰越金	159,194	
東日本区より活動費	200,000	
合 計	359,194	
支出の部		
交通費	62,126	委員交通費(7/3、3/13、4/10、5/11)
通信費	5,040	切手代(アンケート発送)
委員会費	2,803	茶菓代(3/13・4/10 委員会 5/11 打合せ会)
メネットアワー横断幕	46,750	(振込手数料550円)
メネットアワー講師謝礼	40,000	謝礼20,000円、交通費20,000円
メネットアワー接待費	5,692	講師:手土産2,332円、タクシー代3,360円
メネットアワー会場費	3,000	生花代
メネットアワー事務費	5,844	文具、印刷費(しおり40部×11頁)
次年度繰越金	187,939	
合 計	359,194	